

～「考える力」を育む寝屋川教育を次のステージへ～

寝屋川市では、これまで、「考える力」をベースに学力・体力・非認知能力を育み、子どもたちの生きる力の育成に取り組んできました。令和2年度から全校で「ねやがわディベート」を開始し、令和5年度よりD - 1グランプリを開催するなど、全教職員でその実践内容を充実させてきました。異なる意見を尊重しながら、より良い解決策を共に見出す「合意形成」や「探究」の経験は、子どもたちの協働性を高めています。

今、私たちは歴史の大きな転換点に立っています。子どもたちが生きる未来は、私たち自身が経験してきた時代とは大きく異なります。人口減少、不確実性の高まり、グローバル化の加速と多文化共生、デジタル化の波、そして人生100年時代というマルチステージの人生。この変化の時代において、義務教育が果たすべき役割は、これまで以上に重要です。

子どもたちがこれからの荒波を乗り越え、自らの人生を豊かに切り拓くためには、「考える力」を行動につなげ、様々な課題に対峙し新たな価値を創造するとともに、国際社会と地域社会における市民性を育む国際標準の視点を取り入れ、未来を見据えた新たな教育の創造が必要不可欠です。

まず、基盤となるのは「ことばの力」です。子どもたちには「文章の意味を正確に理解する読解力」「言語化する力」が何よりも求められます。また、膨大な情報の中から真偽を見極め、本質を捉える力は、すべての学びの土台となります。

「読書」と「(母)国語教育」により、この読解力、言語化力を育みます。

次に、自分の頭で考えたことを「つたえる力」です。この力を育むため、「スピーチ（自分語り）」を重視します。これは、教科等固有の見方・考え方を働かせ、自らの内面と向き合い、考えを整理し、言葉にして発信する力を養うものです。それが自己肯定感を育み、他者との違いを理解し、尊重する心の土壌を培います。

そして、複雑化する社会では「つたえあう力」が必要不可欠です。本市ではすでに、その力を育むために「ディベート」を行っています。多様な価値観を持つ人々との対話を通じて、論理的に思考し、他者の意見を傾聴し、建設的な議論を重ねる力は、グローバル社会において不可欠です。

巻末資料①

国際的に当たり前なのは、誰もが違う存在であるということです。地域社会においても価値観の多様化が言われています。違う者どうしが、その違いを乗り越え、むしろその違いを活かし合いながら生きていく、そんな社会をともに創り上げていくためには、違いを認め合いながらもその時点での納得解を導き出していく「合意形成の力」がより必要になってくるのではないのでしょうか。

この力は、学習指導要領改訂に向けた文部科学省の「論点整理」にも記載されている「当事者意識を持って、自分の意見を形成し、対話と合意ができる」という子どもの姿ともリンクするとともに、これまでも大事にされてきたキャリア教育の4領域8能力とも関連しています。

子どもたちが違いを乗り越え活かし合う豊かな社会の創造をめざし、「ねやがわディベート」を軸に、「考える力」をさらに深め、わかり合い、わかち合うための「合意形成プログラム」（「ことば」「つたえる」「つたえあう」）を推進していきましょう。



「ことばの力（読解力、言語化力）」を育むための読書や（母）国語教育
「つたえる力（表現力、自己理解力）」を育むためのスピーチ（自分語り）
「つたえあう力（話す・聞く力、他者理解力）」を育むためのディベート

ディベート教育 言語能力育成 年間実施計画【例】(35時間)

★は指導事例付き(巻末資料③)

回	日程	1年生	2年生	3年生
1	4月2週	Beforeスピーチ	Beforeスピーチ	Beforeスピーチ
2	4月3週	◆言葉あそび2時間【特活:D冊子P5】 ◆(絵本について) OOとOO、どちらが好き?【国語:上P10】	◆外遊びと教室遊び、どちらにする?【特活】 ◆言葉あそび・言葉あつめ2時間【特活:D冊子P5】	◆どちらが好きスピーチ【総合:D冊子P7】 ◆よってたかって質問ゲーム【総合:D冊子P7】 ◆1年生を迎える会での、よりよい伝え方について話し合う【特活】
3	4月4週	多層指導モデルMIM(計5時間)	多層指導モデルMIM(計6時間)	◆もっと知りたい、友だちのこと【国語:上P45】 ◆きちんと伝えるためには【国語:上P48】 ◆花の水やりは、係が行うか。それともクラス全員が順番で行うか。【理科・特活】
4	5月2週			
5	5月3週			
6	5月4週			
7	6月1週	★夏と冬、どちらが好き?【生活】 ◆言葉あつめ【特活:D冊子P5】	◆教室で飼うなら、OOとOO、どちらがいい?【国語:上P56】 ★やさしいは「種」から育てるか。それとも、「苗」から育てるか。【生活:P16】	◆全体と中心【国語:P65】 ◆りいこは、その後うさをかいたのだろうか。【国語:P71】 ◆引用するとき【国語:P96】 ◆蝶はそのまま学校で飼うか。それとも自然に返すか。【理科】
8	6月2週			
9	6月3週			
10	6月4週			
11	7月1週	◆絵をかくことと物をつくること、どちらが好き?【国:上P80】	★あった方がいいのは、「空飛ぶつ」か。それとも「どこでもドア」か。【国語:上P90】	◆小学生は、9時までに寝るべきである。【保健:P42】 ◆夏休み中の学習は、いつ(朝、昼、夜)するのがよいか【特活】
12	7月2週			
13	9月1週			
14	9月2週			
15	9月3週	◆OOとOO、Aさんにおすすめするのならどちら?【国語:上P94】 ★学校で生き物を飼った方がよいかどうか。【生活:P52】	◆「お話の本」と「ずかん」、どちらが好き?【国語:上P96】 ◆クラスの生き物の世話は、「係」が行うか。それとも、「クラス全員」が順番で行うか。【生活:P50】	◆こんな係がクラスにほしい【特活・国語:上P122】 ◆係活動は、2つまでしてよいかどうか。【特活】 ◆ポスターを読む【国語:P124】 ◆店の人へのインタビューの仕方を考えよう【総合・社会】 ◆スーパーの入口には大人向けの商品を置くべきである。【総合・社会】
16	9月4週	読書活動(読み聞かせ・精読・多読・情報収集等)	読書活動(読み聞かせ・精読・多読・情報収集等)	◆なぜ、なぜならゲーム【総合:D冊子P7】 ◆でもでもボクシング【総合:D冊子P8】 ◆「ひまわり」の表現の仕方は、ゴッホがよい。それとも葛飾北斎がよい。【図工:上P26】 ◆ちいちゃんは幸せだったのか。 《学校給食はお弁当に変えるべきだ》【総合】 ◆①給食とお弁当のメリットをポストイットに記入
17	10月1週			
18	10月2週			
19	10月3週			
20	10月4週	◆どの場面のためが一番好きですか?【国語:下P44】 ◆教室で飼う生き物を増やした方がよいかどうか。【生活:P52】	◆お手紙は、「かたつむりくん」ではなく、「とりさん」に届けてもらったほうがよかったかどうか。【国語:下P13】 ◆家で飼うなら、犬とネコ、どちらがいい?【生活科】 ◆～をする時、OOさんはどんな気持ちですか?【国語:P36】	◆運動会で使用したもので「なりきり作文」【特活】 ◆なりきりインタビュー【総合:D冊子P8】 《学校給食はお弁当に変えるべきだ》【総合】 ◆②似ているものを分類して、優先順位を考える ◆③グループで発表し、質問もしよう。
21	11月1週			
22	11月2週			
23	11月3週			
24	11月4週	★お楽しみ会は、他のクラスと一緒にするか、別々ですか。【特活】 ◆教室で飼う生き物を逃がした方がよいかどうか。【生活:P52】	◆まちたんけんの発表会では、クイズも入れてよいかどうか。【生活科】 ★図工の材料を集めるのに適した場所は学校か。それともまちか。【図工:下P42】	◆今ど昔。どちらが幸せか。 ◆お楽しみ会の役割のかけもちもちは認めるかどうか。【特活】 《学校給食はお弁当に変えるべきだ》【総合】 ◆④交流した意見をもとに、自分の考えを伝え合う。
25	12月1週			
26	12月2週			
27	12月3週			
28	1月2週	◆どの動物を調べてみたいですか?【国語:下P80】 ◆工作の贈り物がいいか、1つの場所に飾り付けがいいか、どちらがいい?【図工:上P54】	◆感謝の気持ちは手紙で伝える方がよい。それとも、直接言葉で伝えた方がよい。【生活:P108】	《動物園と野生の動物、どちらが幸せか》 ◆①動物園と野生の動物のメリットをポストイットに記入 ◆②似ているものを分類して、優先順位を考える。 ◆③グループで発表し、質問もしよう。
29	1月3週			
30	1月4週			
31	2月1週			
32	2月2週	◆どのお店屋さんになりたいですか?【国語:下P94】 ◆○○コーナーを増やした方がよいかどうか【生活:P114】	◆聞いてつくる!クイズ大会【特活:D冊子P6】 ◆お楽しみ会をするみんな遊びは、運動場ですか。それとも体育館ですか。【特活】	◆何を伝えたくて、それぞれの写真を使おうと思ったのでしょうか。【国語:下P116】 ◆お気に入りの場所、教えます【国語:下P118】 《動物園と野生の動物、どちらが幸せか》 ◆④交流した意見をもとに、自分の考えを伝え合う。
33	2月3週			
34	3月1週			
35	3月2週			
		◆みなさんだったら、子犬をもらいますか?【国語:下P108】 ★一番成長してきた季節はどれですか?【生活】	◆「今年一番成長したことはOOです。」【国語:生活】	◆豆太は変化したかどうか。【国語:下P121】 ◆小学校のかばんは自由にすべきである【理科:P160】
		Afterスピーチ	Afterスピーチ	Afterスピーチ

※上記内容は【一例】である。「児童の実態(想いや願いを含む)」や「ねらい」に応じ、柔軟に指導内容を考えることが重要である。

※1,2年生の「MIM-PM」は、原則、朝学習や授業時間のはじめの時間を活用して、モジュールで実施することを想定している。

なお、カウントの仕方は「2週間で1カウント(45分間)」とする。

【例】5月3週目⇒計20分実施(10分+10分)、5月4週目⇒計25分実施(10分+15分)

※子どもが読書に関心をもてる環境整備や指導の工夫等を心がけ、読み物の魅力を味わうとともに、語彙力(読解力)を高めることを意識する。

※スピーチは、「伝えるスキル」とともに、「思いが言葉にのる」ことが重要である。

生活科を要とし、子どもから学習対象に繰り返し関わり、思いを引き出すとともに、自覚できるように伴走支援することを大切にする。

ディベート教育 言語能力育成 年間実施計画【例】(35時間)

回	日程	4年生	5年生	6年生
1	4月2週	オリエンテーション(話し合いの目的) Beforeスピーチ	オリエンテーション(話し合いの目的) Beforeスピーチ	オリエンテーション(話し合いの目的) Beforeスピーチ
2	4月3週	コミュニケーションゲーム(関係性)	コミュニケーションゲーム(関係性)	コミュニケーションゲーム(関係性)
3	4月4週	コミュニケーションゲーム(関係性)	六色ハット思考法	六色ハット思考法
4	5月2週	立論勝負(説得力があるのはどっち?)	立論提示型D(②図を整理しよう)(Before)	立論提示型D(②図を整理しよう)(Before) ※第二反駁・比較・まとめまで
5	5月3週	立論勝負(実際に書いてみよう)	立論提示型D(立論を考えよう)	立論提示型D(立論を考えよう) ※第二反駁・比較・まとめまで
6	5月4週	立論勝負(比べてみよう)	立論提示型D(立論を完成しよう)	立論提示型D(立論を完成しよう) ※第二反駁・比較・まとめまで
7	6月1週	立論勝負(書き直してみよう)	立論提示型D(質・反を考えよう)	立論提示型D(質・反①②を想定しよう) ※第二反駁・比較・まとめまで
8	6月2週	立論勝負(グループ対抗戦)	立論提示型D(質・反を考えよう)	立論提示型D(質・反①②を想定しよう) ※第二反駁・比較・まとめまで
9	6月3週	行事作文(理由を3つ)	立論提示型D①(ジャッジは聴衆)	立論提示型D①(第二反駁まで) ※第二反駁・比較・まとめまで
10	6月4週	コミュニケーションゲーム(質問)	立論提示型D②(ジャッジは聴衆)	立論提示型D②(第二反駁まで) ※第二反駁・比較・まとめまで
11	7月1週	コミュニケーションゲーム(質問)	立論提示型D③(ジャッジは聴衆)	立論提示型D③(第二反駁まで) ※第二反駁・比較・まとめまで
12	7月2週	コミュニケーションゲーム(質問)	アフターD(GOOD・IMPROVE)	アフターD(GOOD・IMPROVE)
13	9月1週	質問してみよう(先生の立論に)	D-I 論題(②図を考えよう)(Before) ※「比較・まとめ」まで	行事作文(譲歩構文)
14	9月2週	質問してみよう(自分たち立論に)	D-I 論題(立・質・反を考えよう) ※「比較・まとめ」まで	反論してみよう(反論+主張)
15	9月3週	学級ディベート(理由を考えよう)	D-I 論題(立・質・反を考えよう) ※「比較・まとめ」まで	Dマッチ(②図を考えよう)(Before) ※第二反駁・比較・まとめまで
16	9月4週	学級ディベート(比べて質問しよう)	D-I 論題(立・質・反を考えよう) ※「比較・まとめ」まで	Dマッチ(立・質・反を考えよう) ※第二反駁・比較・まとめまで
17	10月1週	行事作文(問いかけ)	D-I 論題(立・質・反を考えよう) ※「比較・まとめ」まで	Dマッチ(立・質・反を考えよう) ※第二反駁・比較・まとめまで
18	10月2週	Dマッチ(KJ:メリットを考えよう)(Before)	Dマッチ①(比較・まとめ)	Dマッチ(立・質・反を考えよう) ※第二反駁・比較・まとめまで
19	10月3週	Dマッチ(KJ:メリットを比較しよう)	Dマッチ②(比較・まとめ)	Dマッチ(立・質・反を考えよう) ※第二反駁・比較・まとめまで
20	10月4週	Dマッチ(KJ:メリットを絞ろう)	Dマッチ③(比較・まとめ)	Dマッチ①(第二反駁・比較・まとめ)
21	11月1週	Dマッチ(理由を考えよう)	アフターD(GOOD・IMPROVE)	Dマッチ②(第二反駁・比較・まとめ)
22	11月2週	Dマッチ①(質問:全体・審判:先生)	D-I 予選会(比較・まとめ)	Dマッチ③(第二反駁・比較・まとめ)
23	11月3週	Dマッチ②(質問:全体・審判:先生)	中間ふり返り作文(抽象➡具体)	アフターD(GOOD・IMPROVE)
24	11月4週	Dマッチ③(質問:全体・審判:先生)	ビブリオバトル(スピーチ)①(ルール・モデル動画)	ビブリオバトル(スピーチ)①(内容を構成)
25	12月1週	アフターD作文(理由3つ)	ビブリオバトル(スピーチ)①(内容を構成)	ビブリオバトル(スピーチ)①(伝える練習)
26	12月2週	作文交流(何ができるようになったか)	ビブリオバトル(スピーチ)①(伝える練習)	ビブリオバトル(スピーチ)①(班交流➡代表者)
27	12月3週	コミュニケーションゲーム(反論)	ビブリオバトル(スピーチ)①(班交流)	ビブリオバトル(スピーチ)①(決勝戦:審判:全員)
28	1月2週	反論してみよう(先生の主張)	反論してみよう(第1反駁に対して)	即典型ディベート(先生-全員)
29	1月3週	反駁型D(KJ:②図を考えよう)	第二反駁を考えよう(11月作成内容)	即典型ディベート①(論理)
30	1月4週	反駁型D(KJ:立論を作ろう)	第二反駁Dマッチ①②③	即典型ディベート②(論理)
31	2月1週	反駁型D(KJ:立論を完成させよう)	ビブリオバトル(スピーチ)②(内容を構成)	即典型ディベート③(論理)
32	2月2週	反駁型D①(質疑なし:審判は全員)	ビブリオバトル②(スピーチ)(伝える練習)	アフターD(即興・論理構成について)
33	2月3週	反駁型D②(質疑なし:審判は全員)	ビブリオバトル②(スピーチ)(班交流➡代表者)	作文(ディベートの価値とは)
34	3月1週	反駁型D③(質疑なし:審判は全員)	ビブリオバトル②(スピーチ)(決勝戦:審判-全員)	作文交流(互いの成長を認め合う)
35	3月2週	1年間の振り返り Afterスピーチ	1年間の振り返り Afterスピーチ	1年間の振り返り Afterスピーチ

※上記内容は【一例】であり、そのまま実施するだけでは十分な効果を得られない。

「児童の実態」と「ねらい」に応じ、柔軟に指導内容を考えることが重要である。

※上記内容は、「言語能力の育成」を主の目的として実施内容を構成したものであることに留意すること。

総合的な学習の時間のテーマと関連づけた論題を扱うことで、「認識」の深化・拡張を促すことができる。

※子どもが読書に関心をもてる環境整備や指導の工夫等を心がけ、読み物の魅力を味わうとともに、語彙力(読解力)を高めることを意識する。

※スピーチは、「伝えるスキル」とともに、「思いが言葉にのる」ことが重要である。

子どもから、テーマに関する思いを引き出すとともに、自覚できるように伴走支援することを大切にする。

ディベート教育 年間実施計画【例】(35時間)

◆中学校は「議論の質」を高め、論題に対する「認知の深化・拡張」を図ることを目的とする。

回	日程	中学1年生		中学2年生		中学3年生	
総合のテーマ		防災学習		キャリア教育(勤労)		平和学習	
1	4月2週	オリエンテーション(話し合いの目的)	Before スピーチ	オリエンテーション(話し合いの目的)	Before スピーチ	オリエンテーション(話し合いの目的)	Before スピーチ
2	4月3週	コミュニケーションゲーム(関係性)		コミュニケーションゲーム(関係性)		コミュニケーションゲーム(関係性)	
3	4月4週	論題の背景を考える(現状-理想)		即興型ディベート①(第二反駁)		即興型ディベート①(第二反駁)	
4	5月2週	立論提示型D(KJ法-③団を考える)(Before)		即興型ディベート②(第二反駁)		即興型ディベート②(第二反駁)	
5	5月3週	立論提示型D(KJ法-③団を比較)		即興型ディベート③(第二反駁)		即興型ディベート③(第二反駁)	
6	5月4週	立論提示型D(立論を考える-情報収集)		アフターディベート(論理構築)		アフターディベート(論理構築)	
7	6月1週	立論提示型D(立論を考える-論理構築)		D-I論題(論題の背景を考える)(Before) ※立て直し・比較・まとめ		Dマッチ(論題の背景を考える)(Before) ※立て直し・比較・まとめ	
8	6月2週	立論提示型D(質疑・反駁を考える)		D-I論題(KJ-③団を考える) ※立て直し・比較・まとめ		Dマッチ(KJ-③団を考える) ※立て直し・比較・まとめ	
9	6月3週	立論提示型D(質疑・反駁を考える)		D-I論題(KJ-③団を比較) ※立て直し・比較・まとめ		Dマッチ(KJ-③団を比較) ※立て直し・比較・まとめ	
10	6月4週	立論提示型D①(第二反駁)		D-I論題(情報収集) ※立て直し・比較・まとめ		Dマッチ(情報収集) ※立て直し・比較・まとめ	
11	7月1週	立論提示型D②(第二反駁)		D-I論題(立論作成) ※立て直し・比較・まとめ		Dマッチ(立論作成) ※立て直し・比較・まとめ	
12	7月2週	立論提示型D③(第二反駁)		D-I論題(立論勝負) ※立て直し・比較・まとめ		Dマッチ(立論勝負) ※立て直し・比較・まとめ	
13	9月1週	読書活動 (読み聞かせ・精読・多読・情報収集等)	1学期のディベート論点整理	読書活動 (読み聞かせ・精読・多読・情報収集等)	D-I論題(1学期のディベートの論点整理)	読書活動 (読み聞かせ・精読・多読・情報収集等)	Dマッチ(1学期のディベート論点整理) ※立て直し・比較・まとめ
14	9月2週		アフターディベート(論題について)		D-I論題(立の再構築、質・反の想定)		Dマッチ(立の再構築、質・反の想定) ※立て直し・比較・まとめ
15	9月3週		強化ワーク(立論 or 質疑 or 反駁)		D-I論題(立の再構築、質・反の想定)		Dマッチ(立の再構築、質・反の想定) ※立て直し・比較・まとめ
16	9月4週		新論題設定(アフターをもとに議論を深める)		D-I校内予選会①(立て直し・比較・まとめ)		Dマッチ①(第二反駁) ※立て直し・比較・まとめ
17	10月1週		D的な話し合い(自分の立場で情報収集)		D-I校内予選会②(立て直し・比較・まとめ)		Dマッチ②(第二反駁) ※立て直し・比較・まとめ
18	10月2週		D的な話し合い(自分の立場で論理構築)		D-I校内予選会③(立て直し・比較・まとめ)		Dマッチ③(第二反駁) ※立て直し・比較・まとめ
19	10月3週		D的な話し合い(全体交流)		D-I校内予選会④(立て直し・比較・まとめ)		アフターディベート(自身・論題について) ※立て直し・比較・まとめ
20	10月4週		アフターディベート(論題について)		D-I校内予選会⑤(立て直し・比較・まとめ)		新論題設定(アフターをもとに議論を深める)
21	11月1週		アフターディベート(全体交流)		アフターディベート(自身・論題について)		D的な話し合い(自分の立場で情報収集)
22	11月2週		ディベート参観(2年生)		代表者Dマッチ(1・2年生ジャッジ) ※立て直し・比較・まとめ		D的な話し合い(自分の立場で論理構築)
23	11月3週		即興型ディベート(モデルディベート)		D-I予選会(立て直し・比較・まとめ)		D的な話し合い(全体交流)
24	11月4週	即興型ディベート①(第二反駁)		企業プレゼンスピーチ大会①(プレゼンスピーチ資料作成)		ビブリオバトル①(内容を構成)	
25	12月1週	即興型ディベート②(第二反駁)		企業プレゼンスピーチ大会②(プレゼンスピーチ資料作成)		ビブリオバトル②(伝える練習)	
26	12月2週	即興型ディベート③(第二反駁)		企業プレゼンスピーチ大会③(プレゼンスピーチ原稿構成)		ビブリオバトル③(班交流⇒代表者)	
27	12月3週	アフターディベート(論理構築について)		企業プレゼンスピーチ大会④(プレゼンスピーチ原稿構成)		ビブリオバトル④(決勝戦:審判・全員)	
28	1月2週	Dマッチ(④団を考える)		企業プレゼンスピーチ大会⑤(リハーサル・ブラッシュアップ)		即興型ディベート①価値論題A(第二反駁)	
29	1月3週	Dマッチ(役割ごとに立・質・反を考える)		企業プレゼンスピーチ大会⑥(本番)	100分て 構成	即興型ディベート②価値論題A(第二反駁)	
30	1月4週	Dマッチ(役割ごとに立・質・反を考える)		企業プレゼンスピーチ大会⑦(本番)		即興型ディベート③価値論題A(第二反駁)	
31	2月1週	Dマッチ(チームで助言し合いブラッシュアップ)		企業プレゼンスピーチ大会⑧(感想交流・振り返り)		スピーチ大会準備①(自己語り)	
32	2月2週	Dマッチ①(第二反駁まで)		即興型ディベート①価値論題(第二反駁)		スピーチ大会準備②(自己語り)	
33	2月3週	Dマッチ②(第二反駁まで)		即興型ディベート②価値論題(第二反駁)		スピーチ大会③(自己語り)	100分て 構成
34	3月1週	Dマッチ③(第二反駁まで)		即興型ディベート③価値論題(第二反駁)		スピーチ大会④(自己語り)	
35	3月2週	1年間の振り返り	Afterスピーチ	1年間の振り返り	Afterスピーチ	1年間の振り返り(作文交流含む)	Afterスピーチ

※上記内容は【一例】であり、そのまま実施するだけでは十分な効果を得られない。

「生徒の実態」と「ねらい」に応じ、柔軟に指導内容を考えることが重要である。

※データがない場合でも、「論理性」を重視して「論理構築する力」を育成するために即興型ディベートも取り入れる。

※子どもが読書に関心をもてる環境整備や指導の工夫等が心掛け、読み物の魅力を味わうとともに、語彙力(読解力)を高めることを意識する。

※スピーチは、「伝えるスキル」とともに、「思いが言葉にのる」ことが重要である。

子どもから、テーマに関する思いを引き出すとともに、自覚できるように伴走支援することを大切にする。

巻末資料③「低学年ディベート 指導展開例」

主な学習の指導展開例(1年生) ※教科の目標を意識して、話し合いを位置づけることが大切です。

【指導展開例①】

教科:生活科(1年生:6月)

内容:(5)季節の変化と生活

テーマ:夏と冬、どっちが好き?

ねらい:季節に関わる行事や様々な出来事をもとにした話し合いを通して、それらと自分との関わりの自覚化を図るとともに、自分の生活を楽しもうとする姿勢を育む。

＜展開例＞

学習活動	指導の留意点
○(春さがしをした経験から) 「夏を感じる」出来事や様子をクラスで出し合う。 ○楽しい「夏」だけれど、それ以上に冬が好きな「私(担任)」を紹介する。 ○夏と冬、どちらが好きか挙手する。 ○理由を互いに伝え合う。(全体) ○今年の「夏(冬)」どんなことをしたいか発表する。(まとめる)	●子どもたちの意見から様々な生活経験を引き出し、「夏」のイメージを膨らめます。 ●冬の方が好きなことを伝え、「理由」に対する関心と興味をひく。その際、共感している児童がいることも伝え、自分との「ズレ」を実感させる。※ズレが「聞きたい気持ち」をつくる。 ●挙手で全員が意思表示できるようにする。 ●互いに理由を述べ合った後に、もう少し詳しく聞きたかったことはないか確認する。 ●話し合いを通して、「自分」と「生活」を結び付けて考えられるようにする。

【指導展開例②】

教科:生活科(1年生:9月)

内容:(7)動植物の飼育・栽培

テーマ:教室で生き物を飼った方がよいかどうか。

ねらい:生き物を飼うかどうかの話し合いを通して、生き物の変化や成長の様子に関心を持って働きかける価値を考え、生き物への親しみや尊さを実感しながら大切に育てようとする姿勢を育む。

＜展開例＞

学習活動	指導の留意点
○(生き物を飼いたいという発言をもとに) 生き物を飼った経験を出し合う。 ○事前に申し出があった生き物について、教室で飼った方がよいかどうか挙手する。 ○理由を互いに伝え合う。(全体) ○生き物を飼うよさや大変さを整理し、自分たちができる関わりは何かを確認する。 ○話し合いを振り返り、感想を伝え合う。(まとめる)	●話し合う前に、子どもたちの生活経験から無自覚に感じている飼育の良さや大変さを引き出し、学級全体のイメージを膨らませる。 ●挙手で全員が意思表示できるようにする。 ●互いに理由を述べ合った後に、もう少し詳しく聞きたかったことはないか確認する。 ●飼育と自分たちの関わりについて確認する。 (誰が、いつ、どのように世話等をするのかは、学活等で話し合う) ●命を扱うことから、結論は急がず、子どもたちが納得できるように伴走する。

【指導展開例③】

教科:国語(1年生:11月)

内容:むかし話を読もう

テーマ:(昔話について)〇〇と〇〇、どちらが好き?

ねらい:好きなお話を選び、その理由を伝え合うことを通して、昔話に出てくる登場人物の行動や場面の様子等、内容の大体を捉え、物語の面白さを味わうとともに進んで読書をする姿勢を育む。

《展開例》

学習活動	指導の留意点
(4月から様々な絵本や昔話を読み聞かせをしていることを前提に) ○知っている昔話や好きな昔話を発表する。 ○テーマを提示し、好きな方に挙手する。 ○理由を互いに伝え合う。(全体) ○話し合いを振り返り、感想を発表する。(まとめる)	●場面や登場人物、展開等、国語科らしい着眼点を持ちながら話し合いが行われることを期待し、4月から様々な物語の読み聞かせをしておく。 ●「場面、登場人物、展開」等に関する発言に対応できるように、上記意識を持っておく。話し合いを限定するわけではなく、そのような視点をもつ児童がどれだけいるのかを見取れるようにしておく。 ●挙手で全員が意思表示できるようにする。 ●互いに理由を述べ合った後に、もう少し詳しく聞きたかったことはないか確認する。

【指導展開例④】

教科:特別活動(1年生:12月)

内容:(1)学級や学校における生活づくりへの参画

テーマ:お楽しみ会は、他のクラスと一緒にするか、別々にするか。

ねらい:学年や学級における生活の充実を図るために、課題を見出し、よりよく問題解決するために話し合い、合意形成を図る。

《展開例》

学習活動	指導の留意点
(子どもの願いや提案をもとに) ○目的と議題を確認する。 目的 互いのがんばりを称え合う機会にする。 ○先生から理由を伝える。 ○テーマについて挙手する。 ○理由を互いに伝え合う。(全体) ○どちらの意見も踏まえてできる案を発表する。	●特別活動は、子どもの自発的、自治的な活動を通して行われることから、願いや発言内容に応じて、テーマを設定する。 ●子どもが伝えられない場合は、先生が変わりに伝え、全体で確認する。 ●挙手で全員が意思表示できるようにする。 ●互いに理由を述べ合った後に、もう少し詳しく聞きたかったことはないか確認する。 ●1年生らしい話し合いを期待するが、場合によっては先生がコーディネートしながら意見をまとめていく。

巻末資料③「低学年ディベート 指導展開例」

【指導展開例⑤】

教科:生活科(1年生:2月)

内容:(1)学校と生活,(5)季節の変化と生活,(6)自然や物を使った遊び,(9)自分の成長

テーマ:一番成長できた季節はどれですか?

ねらい:季節ごとの生活科の学習活動をもとにした話し合いを通して、それらと自分との成長を結びつけて考えながら、意欲的に生活しようとする姿勢を育む。

《展開例》

学習活動	指導の留意点
○1年間の生活科の授業やそれに関わる思い出を発表する。	●学習活動を季節ごとに整理して板書し、四季の巡りと学習活動が結びつくように努める。
○それぞれに嬉しかったことや楽しかったこと、苦労したけれどもうまくいったことなどを伝え合う。	●学習活動の具体的な内容や、自分がどのように取り組んだのかを思い出せるように、子どもの思い出やエピソードを繋ぎ合わせていく。
○一番成長できた季節に挙手する。	●挙手で全員が意思表示できるようにする。
○理由を互いに伝え合う。(全体)	●互いに理由を述べ合った後に、もう少し詳しく聞きたかったことはないか確認する。
○ペアの相手に、改めて感じた「その子らしさ」「その子のよさ(すごさ)」を伝える	●自分の成長を他者の言葉を通して、手応えとして実感できるようにし、生活科を通して成長できた自分たちを称えられるように努める。
○生活科を通して成長できた自分たちを拍手で称え合い、感想をまとめる。	

【指導展開例⑥】

教科:国語(1年生:3月)

内 容:ずうっと、ずっと、大好きだよ(読むこと)

テーマ:みなさんだったら、子犬をもらいますか?

ねらい:子犬をもらうかどうかについて話し合うことを通して、場面、登場人物の様子、展開等、物語全体を振り返りながら、エルフと僕の関わりや僕の気持ちを想像する機会とする。

《展開例》

学習活動	指導の留意点
○場面の様子や登場人物の様子、展開等、これまでの学習を振り返り、エルフと僕の関わりや僕の気持ち等を確認する。	●次の発問が記述をもとに話し合いがされるように、エルフと僕の関わりや僕の気持ち等を、これまでの板書をもとに確認する。
○なぜ、となりの子から子犬をもらわなかったのか考える。	●発言を肯定的に受け止めながら、発言の根拠も確認する。(場面、本文、挿絵、展開、登場人物の関係等)
○自分だったらどうするか考える。	●その子らしさが表れる発問であることから、発言に対して肯定的に受け止めること、さらに詳しく聞きたい場合は質問をすることを確認する。
○最後に「ずっと、ずっと、大好きだよ」の表記ではだめなのか考える。	●物語全体や話し合いを振り返り、これまでの関わりや僕の気持ちについて考えられるようにする。

巻末資料③「低学年ディベート 指導展開例」

【指導展開例⑦】

教科:生活科(2年生:5月)

内容:(7)動植物の飼育・栽培

テーマ:やさいは「種」から育てるか。それとも「苗」から育てるか。

ねらい:1年生の時の喜びや嬉しさ、難しさを伴う栽培経験をもとにした話し合いを通して、植物の生命力を感じる
とともに、大切に育てようとする姿勢を育む。

《展開例》

学習活動	指導の留意点
○1年生で育てた植物やその時の手応えを具体的に思い出す。(アサガオ、チューリップ等)	●植え始めの時期、期間(発芽、つぼみ、花、結実、種)、工夫できた種の数、当時の発見、嬉しかったこと、楽しかったこと、大変やったこと、難しかったこと等、自分と植物の関わりについて感情と結びつけて思い出す。
○トマトについて、自分たちは「種」から育てるか。それとも「苗」から育てるか挙手する。	●挙手で全員が意思表示できるようにする。
○自分なりの思いや理由を伝え合う。	●全員が同じ立場になった場合は、先生が反対の立場で理由を述べる。 (例)「種から植えると時間かかるよ!アサガオもそうだったでしょ。」
★実際に種から育てる場合	●発芽しなくとも、させようと思いをもちながら必死に自分のトマトに関わろうとすることを重要視する。試行錯誤の過程で、問いを生み出す、繰り返し対象と関わり続け、問いを明かし続ける営みを大事にする。

【指導展開例⑧】

教科:国語(2年生:7月)

内容:相手の考えを引き出すしつもんをしよう。

テーマ:あった方がいいのは、「空飛ぶくつ」か。それとも「どこでもドア」か。

ねらい:互いの話に関心をもち、質問をしながら相手の発言を受けて意見をつなげる力を育む。

《展開例》

学習活動	指導の留意点
○「こんなもの、あったらいいな」と思うものを自由に伝え合う。	●話し合うテーマは仮決めしているが、子どもから引き出した内容をもとに話し合えるようにする。
○話し合う対象を2つに絞り、自分の立場を決め、挙手する。	●「自分の意見以外で選ぶ」等、条件をつけながら対象を絞る。
○理由を互いに伝え合う。(全体)	●また、挙手で全員が意思表示できるようにする。
○ペアで役割を決め、どれだけ質問をしながら意見をつなげるか挑戦する。	●互いに理由を述べ合った後に、もう少し詳しく聞きたかったことはないか確認する。
○ペアでやりとりを発表し、「話をつなぐ」ことについて、ワークシートをもとに自己評価する。	●「量」を意識させ、質問することに関心をを持たせる。よい質問をしている人を、ロールモデルとして示す。
	●「つなぐこと」と「質問すること」をもとに、工夫したことや難しかったこと、うまくいったことを振り返りとしてまとめる。

【指導展開例⑨】

教科:図工・生活科(2年生:11月)

内容:(2)学校と生活,(3)地域と生活,(5)季節の変化と生活,(6)自然やものを使った遊び

テーマ:(図工の)材料を集めるに適した場所は学校か。それともまちか。

ねらい:町探検の学習をもとにした話し合いを通して、季節を通した自分たちのまちについて捉え直し、まちの新たな側面を知る機会とする。

＜展開例＞

学習活動	指導の留意点
○図工「秋を表現しよう」において、まちの公園で材料を見つけて持ってきた事例を紹介する。	●まち探検の前に図工の学習内容をイメージできるようにどんなことをするのか事前に紹介しておく。(まちにある自然に対して感度を高めるため)
○材料を集めるに適した場所は学校か。それともまちか。	●学校内で材料探しをしていない場合は、そのまま外に探しに行くことも考えられる。
○テーマについて挙手する。	●挙手で全員が意思表示できるようにする。
○理由を伝え合う。(全体)	●学校で見つけたものを発表させてから、「まちのあそこではない○○」という「まち(学校の外)だからこそ」の意見を期待する。それぞれの幼少期からの思い出や、町たんけんの活動をもとにした発言を引き出すようにする。
★まち探検の際に、話し合いの内容を確かめに行く。	●確かめに行く内容を全体で確認してから、まち探検へ行くようにする。確認後は、「○○さんの発言により、まちの新たな一面(あの公園にはどんぐりの木がある)」を知ることができたことを価値づけるなど、ねらいを意識する。

【指導展開例⑩】

教科:特別活動(2年生:12月)

内容:(1)学級や学校における生活づくりへの参画

テーマ:お楽しみ会は、全員遊びをするか。それともグループの出し物にするか。

ねらい:学年や学級における生活の充実を図るために、課題を見出し、よりよく問題解決するために話し合い、合意形成を図る。

＜展開例＞

学習活動	指導の留意点
(子どもの願いや提案をもとに)	●特別活動は、子どもの自発的、自治的な活動を通して行われることから、願いや発言内容に応じて、テーマを設定する。
○目的と議題を確認する。	
目的 互いのがんばりを称え合う機会とする。	
○先生から理由を伝える。	●子どもが伝えられない場合は、先生が変わりに伝え、全体で確認する。
○テーマについて挙手する。	●挙手で全員が意思表示できるようにする。
○理由を互いに伝え合う。(全体)	●互いに理由を述べ合った後に、もう少し詳しく聞いたかったことはないか確認する。
○どちらの意見も踏まえてできる案を発表する。	●1年生らしい話し合いを期待するが、場合によっては先生がコーディネートしながら意見をまとめていく。

ねやがわディベート年間カリキュラム(例)

	目標	学 年	学級ディベートの具体的段階 (○番号:発言の順番)	4～6月	7～12月	1～3月	目指す姿		
							話し手としての成長	聞き手としての成長	集団としての成長
成 長 期	他者とコミュニケーションをとる楽しさを体験的に理解することを通して、ディベートの基礎となる言葉への興味・関心を高める。 (ディベートや教科学習につながる「対話の素地」の育成)	小学 1 年 生	判定 ① 肯定 ② 作 ③ 否定 ④ 立論 ⑤ 質疑 ⑥ 反駁 ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	・多層指導モデル MIM ・コミュニケーションゲーム ・教科におけるディベート的な授業(2項対立) 《指導の留意点》 ・MIM-PM(アセスメント)をもとに、MIMを実施する。 ・話すことや聞くことの楽しさを味わわせる。 ・「どっち、どっちタイム」(就学前教育)の経験を生かし、理由も併せて問う。 ・テーマを決める際、子どもの想いや願いを大事にする。	・メリット・デメリットを書き出し、類別したり、優位性を比べ、実際にディベート的に話し合う。	・メリット・デメリットを書き出し、類別したり、優位性を比べ、実際にディベート的に話し合う。	・思ったことと、そのわけを言うことができる。 ・聞きやすい大きさの声と速さで話することができる。	・もっと知りたいことを聞いたり、思ったことを言ったりすることができる。	・進んでコミュニケーションを取りながら、対話を楽しむことができる。
		小学 2 年 生		・コミュニケーションゲーム ・教科におけるディベート的な授業を行う。	・メリット・デメリットを書き出し、類別したり、優位性を比べたりする。	・メリット・デメリットを書き出し、類別したり、優位性を比べ、実際にディベート的に話し合う。	・聞き取りやすい声の大きさを工夫することができる。	・聞いたことの中から、大事なことをメモすることができ、質問をして、相手の考えを引き出すことができる。	・友達の意見をすすんで聞こうとする子どもが増え、支持的風土が広がる。
		小学 3 年 生		・コミュニケーションゲーム ・教科におけるディベート的な授業を行う。	・メリット・デメリットを書き出し、類別したり、優位性を比べたりする。	・メリット・デメリットを書き出し、類別したり、優位性を比べ、実際にディベート的に話し合う。	・伝えたいことに合わせて、声の強弱や話す速さなどを工夫することができる。	・話の中心に気を付けて聞き、どのように質問するとよいかを考えることができる。	・友達の意見に耳を傾け、人と意見を区別して話したり聞いたりすることができるようになる。
発 展 期	様々なディベートの実践を通して、討論を楽しみ続けられることができる力。育む。 (多面的・多角的に「考察する力」の育成)	小学 4 年 生	判定 ① 肯定 ② 作 ③ 否定 ④ 立論 ⑤ 質疑 ⑥ 反駁 ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	・判定のルールを確認し、討論ゲームを楽しむ。 ・ディベートのルールや役割について知る。 ・発言記録の方法を学ぶ。	・自分たちで論議を決め、マイクロディベートをする。 ・ディベートの形に合った発言記録に取り組む。	・反駁の仕方を確認し、マイクロディベートをする。 ・ディベートの形に合った発言記録に取り組む。	・大事なことが伝わるように、声の出し方や間の取り方、資料の見せ方を工夫することができる。	目的と必要なことを考え、要点を短い言葉で書くなど、メモを取りながら書くことができる。	・友達の意見にも質問や反駁ができるようになる。 ・人と意見を区別して話したり聞いたりすることができるようになる。
		小学 5 年 生	判定 ① 肯定 ② 作 ③ 否定 ④ 立論 ⑤ 質疑 ⑥ 反駁 ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	・判定のルールを決めて討論ゲームを楽しむ。 ・自分たちで論議を決めてミニディベートをする。 ・発言記録の方法を確認し、ミニディベートをする。	・立論提示型ディベートを行い、効果的な質疑と反駁の仕方を考える。 ・効果的な情報選択を含む説得力のある立論の書き方について考える。 ・アフターディベートに取り組む。 (Dー1グランプリ)	・第1反駁までのディベートを実施し、立論・質疑応答・反駁の質を高めるワークショプを行う。 ・アフターディベートに取り組む。	・メリット、デメリット方式の話し方ができる。 ・意見を理由と結論とに分け、理由を否定することができ、反駁をしながら聞くことができる。 ・結論と根拠の関係を考え、話をすることができ、資料を使って立論を作成できる。	・話を批判的に聞くことができる。 ・確認したいことを考えながら聞くことができる。 ・反駁を考えながら聞くことができる。 ・要点をメモしながら聞くことができる。	・友達の意見にも質問や反駁ができるようになり、対話的な学習ができるようになる。 ・人と意見を区別して話したり聞いたりすることができるようになり、建設的な議論が可能になる。
		小学 6 年 生	判定 ① 肯定 ② 作 ③ 否定 ④ 立論 ⑤ 質疑 ⑥ 反駁 ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	・「メリット・デメリット方式」(政策論題によるディベート)をする。 ・シンキングツール等を使った論理構築をする。 ・反駁型ディベートに取り組む、第2反駁の仕方を知る。 ・アフターディベートに取り組む。	・立論提示型ディベートを行い、効果的な質疑・反駁の仕方を考える。 ・「学級ディベート大会」をする。 ・ピフォー及びアフターディベートに取り組む。	・第2反駁までを含むディベートをする。 ・「学級ディベート大会」をする。 ・ピフォー及びアフターディベートに取り組む。 ・モビリティディベートを3年生(4・5年生)に披露する。	・相手の質問を受けて、反駁ができる。 ・自分で課題を決め、ディベート的な意見を主張できる。 ・自分の表現に友達のよさを取り入れるために聞くことができる。	・結論と理由の関係に気を付けて聞くことができる。 ・結論と根拠の関係を批判しながら聞くことができる。 ・自分の表現に友達のよさを取り入れるために聞くことができる。	・友達の意見にも質問や反駁ができるようになり、対話的な学習を深めることができる。 ・人と意見を区別して話したり聞いたりすることができるようになり、建設的な議論ができる。 ・どんな課題についても主眼的・対話的に学習できる。

深 化 期 小学校でのディベートの実践を土台にして、戦略的に討論を進め、論理的に考え続けることができる力を育む。 （「新たな価値を創造する力」の育成）	中学 1 年 生	・モデルディベートを参観する。 ・第2反駁までを含むディベートをする。 ・シンキングツール等を使った論理構築をする。 ・いずれかの立論を選択し、立論を修正する。 ・ピフオー及びアフターディベートに取り組む。	・ディベートで身に付けた技術を活かし、色々な話し合い討論をする。 ・「学級・学年ディベート大会」をする。 ・ピフオー及びアフターディベートに取り組む。	・「学級・学年ディベート大会」をする。 ・ピフオー及びアフターディベートにも取り組む。	・自分で課題を決め、ディベート的な意見を主張する。 ・相互の反駁をもとに立論を修正することができる。 ・発言内容、その解釈、評価を根拠にし、修正した立論を評価し合うことができる。	・結論と理由の関係を気に付けて聞くことができる。 ・結論と根拠の関係を批判しながら聞くことができる。 ・効果的な反駁を評価しながら聞くことができる。 ・自分の表現に友達の良いところを取り入れるために聞くことができる。	・人と意見を区別して話したり聞いたりすることができるようになり、建設的な議論ができる。 ・全ての立場で利点があるような関係で学ぶ。 ・話し手、聞き手、判定、全ての立場が学べるような討論ができる。 ・どんな課題についても主體的・対話的に学習できる。
	中学 2 年 生	・第2反駁までを含むディベートをする。 ・議論をふり返り、立論を修正して、結論を考える。 ・ピフオー及びアフターディベートにも取り組む。 ・即興型ディベートにも取り組む。	・各教科等の学習内容から、自分たちで論題を設定し、ディベートに取り組む。 ・「学級・学年ディベート大会」をする。 ・ピフオー及びアフターディベートに取り組む。	・「学級・学年ディベート大会」をする。 ・ピフオー及びアフターディベートにも取り組む。	・各教科等の学習における、作文やスピーチ等の表現活動において、ディベートで培った表現が活用できる。 ・複数の根拠から、より客観性の高い情報を根拠に発言することができる。 ・相互の反駁をもとに立論を修正することができる。 ・発言内容、その解釈、評価を根拠にし、修正した立論を評価し合うことができる。 ・即興的な議論においても自分の主張を述べることができる。	・結論と根拠の関係を批判しながら聞くことができる。 ・効果的な反駁を評価しながら聞くことができる。 ・双方の考えの共通点や相違点を意識しながら聞くことができる。	・人と意見を区別して話したり聞いたりすることができるようになり、建設的な議論ができる。 ・全ての立場で利点があるような関係で学ぶ。 ・話し手、聞き手、判定、全ての立場が学べるような討論ができる。 ・自分の意見や一つの見方に固執せず、柔軟な態度で討論ができる。
	中学 3 年 生	・モデルディベートを新入生に披露する。 ・第2反駁までを含むディベートをする。 ・ピフオー及びアフターディベートに取り組む。 ・即興型ディベートにも取り組む。 ・ディベートの議論の流れを基に、小論文を書く(チャレンジ小論文)。	・各教科等の学習内容から、自分たちで論題を設定し、ディベートに取り組む。 ・「学級・学年ディベート大会」をする。 ・ピフオー及びアフターディベートに取り組む。 ・即興型ディベートにも取り組む。	・「学級・学年ディベート大会」をする。 ・ピフオー及びアフターディベートにも取り組む。	・各教科等の学習における、作文やスピーチ等の表現活動において、ディベートで培った表現が活用できる。 ・討論の目的を意識し、観点に沿って意見や根拠を絞り込むことができる。 ・相互の反駁をもとに立論を修正することができる。 ・発言内容、その解釈、評価を根拠にし、修正した立論を評価し合うことができる。 ・即興的な議論においても自分の主張を述べることができる。	・結論と根拠の関係を批判しながら聞くことができる。 ・効果的な反駁を評価しながら聞くことができる。 ・双方の意見の長所を捉え、よりよい結論を考えながら聞くことができる。	・人と意見を区別して話したり聞いたりすることができるようになり、建設的な議論ができる。 ・全ての立場で利点があるような関係で学ぶ。 ・話し手、聞き手、判定、全ての立場が学べるような討論ができる。 ・自分の意見や一つの見方に固執せず、柔軟な態度で討論ができる。 ・これまでのディベート学習や、政策論題を通して、社会問題について学び、社会参画への意識を高めることができる。

判定	選定	審査	審査	審査	審査
① 立論1	② 反駁1	③ 立て直し1	④ 立論2	⑤ 反駁2	⑥ 立て直し2
⑦ 立論1	⑧ 立論1	⑨ 立論1	⑩ 立論2	⑪ 立論2	⑫ 立論2

※具体的な流れは巻末資料を参照

名前()

①肯定側立論(2分)

(作 戦 タ イ ム 3 0 秒)

②否定側質疑(1分30秒)

(作 戦 タ イ ム 1 分)

⑤否定側第一反駁(1分30秒)

(作 戦 タ イ ム 1 分)

⑧肯定側(比較・まとめ)1分



③否定側立論(2分)

(作 戦 タ イ ム 3 0 秒)

④肯定側質疑(1分30秒)

⑥肯定側第一反駁(1分30秒)

⑦否定側(比較・まとめ)1分

※第2反駁までする場合は、「比較・まとめ」でまとめて行う。

①肯定側立論(2分)

【結論】

よろしく願います。私たちは、論題「図書室にマンガも置くべきである」について、肯定側の立場で立論します。

【メリット】

起きるメリットは「本に触れる機会が増える」ことです。なぜこのメリットが起きるのかを説明します。

【現状分析】

いま、わたしたち、子どもの「読書ばなれ」が問題になっています。文部科学省の調査では、休日にまったく本を読まない人が増えており、最新の「学校読書調査」でも、1か月に1冊本を読まない小学生が約10人に1人もいることがわかっています。いまの図書室は、本が苦手な人にとって「自分とは関係のない場所」になってしまっています。

【発生過程(根拠・理由付け)】

国立青少年教育振興機構の調査結果によるとマンガを読む子どもは、読まない子どもよりも「文章の本」を読む時間も長いという結果が出ています。マンガは絵があるため、内容が理解しやすく、物語の楽しさを知ることができ、ますますマンガで興味を持ち、そこから関連する歴史や科学の本へ広がっていくことができるのです。

【重要性】

重要性を述べます。一番大切なことは、すべての子どもが図書室を「楽しい」と感じ、知識を広げる一歩を踏み出すことです。図書室の可能性を広げるために、マンガを置くべきです。これで立論を終わります。

(作戦タイム30秒)

②否定側質疑(1分30秒)

(宜しく願います)

■その「国立青少年教育振興機構」の調査は、いつのものですか?
→2021年です。

■マンガだけで満足して、ふつうの本を読まないままになりませんか?
→いいえ。データでは、マンガを読む人ほどふつうの本も読むようになると証明されています。

■マンガは家で読めます。なぜわざわざ学校に置く必要があるのですか?
→だれでも平等に本に触れるきっかけを作るためです。学校にあることが重要です。

(作戦タイム30秒)

⑤否定側第一反駁(1分30秒)

(宜しく願います)

「肯定側の立論に対して反駁します。
まず、肯定側は『マンガをきっかけに本を読む機会が増える』と言っていますが、それは成立しません。なぜなら、肯定側が出したデータは、あくまで『両方読んでいる人がいる』という結果にすぎないからです。もともと本が好きな人がマンガも読んでいるだけで、本が嫌いな人がマンガをきっかけに難しい本を読むようになるという直接的な証拠にはなりません。結局、マンガだけを読んて終わってしまう可能性が高いです。
次に、『学校に置いて平等にチャンスを作るべきだ』と言っていますが、それは重要ではありません。図書室の予算はみんなの税金です。家で読める、娯楽のマンガに貴重な予算を使うよりも、家では買えない専門的な図鑑や、学習に必要な資料をそろえることこそが、学校が優先すべき平等なサポートです。
以上の理由から、メリットよりもデメリットの方が大きいといえます。これで反駁を終わります。

(作戦タイム1分)

③否定側立論(2分)

【結論】

よろしく願います。私たちは、論題「図書室にマンガも置くべきである」について、否定側の立場で立論します。

【デメリット】

起きるデメリットは「図書室の室が下がってしまう」ことです。なぜこのデメリットが発生するのかを説明します。

【現状分析】

図書室は、限られたお金とスペースを借って、みんなが学習や深い読書をするための公共の場所です。いま、学校の図書室には「学習に役立つ本」が優先して置かれています。でも、「新しい本が足りない」という声があるのが現状です。

【発生過程(根拠・理由付け)】

実際にマンガを置いた図書館では、一部の人がマンガコーナーを独占したり、お喋りなどの騒音トラブルが増えたりしたという報告があります。マンガは娯楽性が高く、一度読み始めると夢中になります。その結果、図書室が「勉強や静かな読書をする場所」ではなく、「友達とマンガを楽しむ遊び場」に変ってしまい、本場に調べ学習をしたい人が使いにくくなります。

【深刻性】

深刻性を述べます。一番深刻なのは、学校の図書室が持つ「学びの場」としての価値が壊れてしまうことです。マンガは家で読むことができ、わざわざ学校の予算を使って置く必要はありません。これで、立論を終わります。

(作戦タイム30秒)

④肯定側質疑(1分30秒)

(宜しく願います)

■騒音トラブルがあったという報告は、いつ、どこの図書館のものですか?
→公立図書館の事例ですが、マンガ導入後にマナーが悪化したという課題は、現在も多くの図書館の運営報告で指摘されています。

■学習に役立つ『学習マンガ』であれば、図書室に置いても問題ないのではないのですか?
→いいえ。学習マンガであっても、娯楽性が高ければ遊び場になる危険は変わりません。それよりも、最新の図鑑や参考書を増やす方が学習のためになります。

■『お喋り』などのトラブルは、場所を分けたリルールを作ったりすれば防げるのではないですか?
→いいえ。一度『遊び場』というイメージがつくと、ルールを守らせるのが難しくなります。最初から置かないことが、静かな環境を守る一番の方法です。

(作戦タイム30秒)

⑥肯定側第一反駁(1分30秒)

(宜しく願います)

「否定側の立論に対して反駁します。
まず、『図書室が遊び場になり、ルールが守れなくなる』は成立しません。質疑では『守らせるのが難しい』と言われましたが、学校はルールを学ぶ場所です。場所や時間を分けられ環境は守れます。最初から諦めるのではなく、工夫して使いやすくするのが図書室のあるべき姿です。
次に、『家で読めるから学校に置く必要はない』は重要ではありません。どれだけ立派な図鑑をそろえても、本を読まない人が図書室に来なければ意味がありません。まずはマンガで入り口を作り、図書室へ足を運んでもらうことこそが、読書はなれを解決する一番の近道です。
以上の理由から、否定側の主張は成立せず、マンガを導入すべきです。」これで反駁を終わります。

(作戦タイム1分)

⑦否定側(比較・まとめ)1分

(宜しく願います)

今日のディベートをまとめます。
【判断の基準】
最も大切な点は、『学校の図書室が、本当に守るべき役割は何なのか』です。
【相手の主張】
この点について、肯定側は『本に触れるきっかけを作るために、マンガを置くべきだ』と考えています。
【自分たちの主張(理由)】
しかし、私たち否定側の議論の方が優れています。
なぜなら、マンガは家で読める娯楽であり、学校の限られた予算やスペースを使ってまで置くものではないからです。一度図書室が『遊び場』になってしまえば、本場に静かに調べ学習をしたい人が困ることになります。私たちは、マンガで人々を集めることよりも、最新の図鑑や資料を充実させ、学校でしかできない質の高い学びを支えることの方が重要だと考えます。
【論題と立場】
よって、図書室の価値と静かな環境を守るために、マンガを置くべきではないと言えます。これで終わります。

(作戦タイム1分)

名前()

⑧肯定側(比較・まとめ)1分

(宜しく願います)

今日のディベートをまとめます。
【判断の基準】
最も大切な点は、『どうすれば、すべての子どもが本に触れるきっかけを作れるのか』です。
【相手の主張】
この点について、否定側は『図書室の質を守るために、マンガを置くべきではない』と考えています。
【自分たちの主張(理由)】
しかし、私たち肯定側の議論の方が優れています。
なぜなら、どれほど立派な本をそろえても、図書室に来る人がいなければ意味がないからです。私たちは、マンガを入りにすることで、ふだん本を読まない10人に1人の児童も、図書室に呼び戻すことができると具体的に示しました。トラブルはルールの上で解決できますが、失われた『読書の機会』は、マンガといききっかけがなければ取り戻せません。
【論題と立場】
よって、図書室の可能性を広げ、みんなの学びを支えるために、マンガを置くべきだと言えます。これで終わります。

(作戦タイム1分)

※第2反駁までする場合合は、「比較・まとめ」でまとめて行う。

論題:

3分 (肯定1) 肯定論点① 1 2	3分 (否定1) ⑥否定側第一反論 肯定論点①へ反論 1 否定論点① 2	3分 (肯定2) 前半担当:下線部 後半担当:下線なし 肯定論点①の立て直し 2 肯定論点② 3 否定論点①へ反論 1	3分 (否定2) 前半担当:下線部 後半担当:下線なし 肯定論点①への再反論 1 肯定論点②への反論 2 否定論点①の立て直し 3 否定論点② 4	名前() 2分 (否定まとめ) 最も重要なこと 1 肯定側の意見 2 否定側の意見が優れている理由 3	2分 (肯定まとめ) 最も重要なこと 2 否定側の意見 3 肯定側の意見が優れている理由 4 否定論点②への反論 1	2分 (肯定まとめ) 最も重要なこと 2 否定側の意見 3 肯定側の意見が優れている理由 4	QRコード 最も重要なこと 2 否定側の意見 3 肯定側の意見が優れている理由 4 否定論点②への反論 1
---	---	--	--	---	--	--	--

論題：図書室にもマンガを置くべきである

[illegible]

スピーチシート



Prime Minister (PM) (肯定側 1 番目)

挨拶 みなさん、こんにちは。

お題 今日のお題は、

論題を記入する

定義 お題は、次のように定義します。

定義を必要とする
事柄があれば定義
する

肯定ポイントの数の確認 肯定する論点は 2 つあります。

肯定ポイント 1 の
題名を記入する

肯定ポイント 1 の名前 1 つ目の論点は

肯定ポイント 2 の名前 2 つ目の論点は

肯定ポイント 2 の
題名を記入する

です。

肯定ポイント 1 の説明 それでは、論点 1

肯定ポイント 1 の
題名を記入する

について説明します。

肯定ポイント 1 の
具体的な説明を記
入する

論題を記入する
(肯定)

結論 よって、

終わりの挨拶 ありがとうございました。

Leader of the Opposition (LO) (否定側 1 番目)

挨拶 みなさん、こんにちは。

否定側の方針確認 私たち否定側は、

論題の否定文を記入する

と考えます。

肯定ポイント 1 への反論 肯定側の論点 1 に反論します。

PM で述べられた肯定ポイント 1 を記入する

彼らは、

と述べました。

しかし、

肯定ポイント 1 への反論を記入する

よって、

肯定ポイント 1 が成立しないという結論を記入する

否定ポイントの数の確認 次に、否定側の論点を述べます。2 つの論点があります。

否定ポイント 1 の題名を記入する

否定ポイント 1 の名前 1 つ目の論点は

否定ポイント 2 の題名を記入する

否定ポイント 2 の名前 2 つ目の論点は

です。

否定ポイント 1 の題名を記入する

否定ポイント 1 の説明

論点 1

について説明します。

否定ポイント 1 の具体的な説明を記入する

論題の否定を記入する

結論 よって、

終わりの挨拶 ありがとうございました。

Member of the Government (MG) (肯定側 2 番目)

挨拶 みなさん、こんにちは。

肯定側の方針確認 私たち肯定側は

論題を記入する
(肯定)

と考えます。

否定ポイント 1 への反論 否定側の論点 1 に反論します。

彼らは、

LO で述べられた
否定ポイント 1 を
記入する

と述べました。

しかし、

否定ポイント 1 へ
の反論を記入する

よって、

否定ポイント 1 が
成立しないという
結論を記入する

肯定ポイント 1 の立て直し 次に、肯定側の論点 1 を立て直します。

彼らは、

肯定ポイント 1 に
対し、LO で述べら
れた反論を記入す
る

と述べました。

しかし、

上記反論を踏ま
え、肯定ポイント 1
が成立する理由を
記入する

よって、

肯定ポイント 1 が
成立するという結
論を記入する

肯定ポイント 2 の説明 それでは、肯定側の論点 2

肯定ポイント 2 の
題名を記入する

について説明します。

肯定ポイント 2 の
具体的な説明を記
入する

結論 よって、

論題を記入する
(肯定)

終わりの挨拶 ありがとうございました。

Member of the Opposition (MO) (否定側 2 番目)

挨拶 みなさん、こんにちは。

否定側の方針確認 私たち否定側は、

と考えます。

肯定ポイント 1 への反論 肯定側の論点 1 に反論します。

彼らは、

と述べました。

しかし、

よって、

論題の否定文を
記入する

MG (または PM)
で述べられた
肯定ポイント 1
を記入する

上記意見を踏ま
え、肯定ポイント
1 への反論を記入
する

肯定ポイント 1
が成立しないとい
う結論を記入

肯定ポイント 2 への反論 肯定側の論点 2 に反論します。

彼らは、

と述べました。

しかし、

よって、

MG で述べられ
た肯定ポイント 2
を記入する

肯定ポイント 2
への反論を記入
する

肯定ポイント 2
が成立しないとい
う結論を記入
する

否定ポイント 1 の立て直し 次に、否定側の論点 1 を立て直します。

彼らは、

と述べました。

しかし、

よって、

否定ポイント 1
に対し、MG で述
べられた反論を
記入する

上記反論を踏ま
え、否定ポイント 1
が成立する理由を
記入する

否定ポイント 1 が
成立するという結
論を記入する

否定ポイント 2 の説明 それでは、肯定側の論点 2

について説明します。

否定ポイント 2 の
題名を記入する

否定ポイント 2
の具体的な説明
を記入する

結論 よって、

論題の否定を
記入する

終わりの挨拶 ありがとうございました。

Leader of the Opposition Reply (LOR) (否定側まとめ)

挨拶 みなさん、こんにちは。

否定側の方針確認 私たち否定側は、

論題の否定文
を記入する

と考えます。

ディベートのまとめ 今日のディベートをまとめます。

最も重要なこと 最も重要な点は、

最も重要な点
を記入する

です。

肯定側の意見 この点について、肯定側の考えは、

最も重要な点
に関する肯定
側の意見を記
入する

です。

否定側の意見が優れている理由 しかしながら、私たち否定側の議論のほうが優れています。
なぜなら、

否定側の意見
の方が優れて
いる理由を記
入する

結論 よって、

論題の否定を
記入する

終わりの挨拶 ありがとうございました。

----- メモ -----

【肯定ポイント1】

【否定ポイント1】

【肯定ポイント2】

【否定ポイント2】

肯定ポイント
1, 2
否定ポイント
1, 2 の題名を
記入する

Prime Minister Reply (PMR) (肯定側まとめ)

挨拶 みなさん、こんにちは。

肯定側の方針確認 私たち肯定側は

論題を記入する (肯定)

と考えます。

否定ポイント 2 への反論 まず、否定側の論点 2 について反論します。

MO で述べられた否定ポイント 2 を記入する

彼らは、

と述べました。

しかし、

否定ポイント 2 への反論を記入する

よって、

否定ポイント 2 が成立しないという結論を記入する

ディベートのまとめ では、今日のディベートをまとめます。

最も重要なこと 最も重要な点は、

最も重要な点を記入する

です。

否定側の意見 この点について、否定側の考えは、

最も重要な点に関する否定側の意見を記入する

です。

肯定側の意見が優れている理由 しかしながら、私たち肯定側の議論のほうが優れています。

なぜなら、

肯定側の意見の方が優れている理由を記入する

結論 よって、

論題を記入する (肯定)

終わりの挨拶 ありがとうございました。

----- メモ -----

肯定ポイント 1, 2
否定ポイント 1, 2 の題名を記入する

【肯定ポイント 1】

【否定ポイント 1】

【肯定ポイント 2】

【否定ポイント 2】

(開始)

- こんにちは、みなさん。
今日のお題は、 _____ です。
では、肯定側1番目のスピーチを3分でお願いします。 _____ さん、どうぞ。

↓
肯定側1番目 (3分)

- ありがとうございます。
では、否定側1番目のスピーチを3分でお願いします。 _____ さん、どうぞ。

↓
否定側1番目 (3分)

- ありがとうございます。
では、肯定側2番目のスピーチを3分でお願いします。
前半 _____ さん、後半 _____ さん、どうぞ。

↓
肯定側2番目 (3分)

- ありがとうございます。
では、否定側2番目のスピーチを3分でお願いします。
前半 _____ さん、後半 _____ さん、どうぞ。

↓
否定側2番目 (3分)

- ありがとうございます。
では、否定側まとめのスピーチを2分でお願いします。 _____ さん、どうぞ。

↓
否定側まとめ (2分)

- ありがとうございます。
では、肯定側まとめのスピーチを2分でお願いします。 _____ さん、どうぞ。

↓
肯定側まとめ (2分)

- ありがとうございます。
では、本ディベートを終了します。ご協力ありがとうございました。(拍手)
対戦チーム同士、握手をしてください。

(終了)

肯定側立論 (①:2分) ◎メリット ○メリットが起きる理由 ○重要性	否定側質疑 (③:1分)	肯定側第一反駁 (⑧:1分)	肯定側第二反駁 (⑫:1分)
作戦タイム②一分		作戦タイム⑩一分	
否定側立論 (④:2分) ◎デメリット ○デメリットが起きる理由 ○深刻性	肯定側質疑 (⑥:1分)	否定側第一反駁 (⑨:1分)	否定側第二反駁 (⑪:1分)
作戦タイム⑤一分		作戦タイム⑦一分	

肯定側立論 (①:2分)

◆メリットが1つの場合は「巻末資料③」を基本とする。

◆メリットが複数ある場合は、それぞれに「理由づけ」と「重要性」を述べる。

(例)
私たちは、論題「図書室にマンガも置くべきである。」について肯定側の立場で立論します。起きのメリットは2つあります。
1つ目は「本に触れる機会を増やす」ということです。読書に苦手意識があり、本を読まなければならぬから読むという人が…。(理由づけ)…。
マンガを含め、本に触れる機会が増えることで、知識も増えることはまちがいにありません。(←重要性)
2つ目は「表現力が豊かになる」ということです。みなさん、「OO」というフレーズを知っていますか？(理由付け)…。

このように、豊かな表現に触れることは、自身の表現力を豊かにするとともに、自分の生き方を方向付けることにもつながります。(←重要性)
以上のことから、私たちが「図書館にマンガを置くべきである」と考えます。

作戦タイム (②:1分)

否定側立論 (④:2分)

◎デメリット

○デメリットが起きる理由

○深刻性

作戦タイム (⑥:1分)

否定側質疑 (③:1分)

◆「相手の意図」と「自分の解釈」にズレが生じないよう、「確認」の質問をする。

※「意見を尊重すること」につなげる

(例)
立論で「本に触れる」と言っていますが「マンガ」も含んでいますか？

◆意見の不十分さを指摘する(反駁する)ために、質問する。

(例)
・先程提示したデータは、いつのものでしょうか？(信憑性を指摘するため)
・アンケートの対象者はだれですか？(ターゲットの整合性・妥当性を指摘するため)
・立論で…と述べていましたが、なぜ「マンガから読書へ移る」と言いきれるのでしょうか？(因果関係等、論理を指摘するため)

作戦タイム (⑦:1分)

肯定側質疑 (⑥:1分)

否定側第一反駁 (⑧:1分)

◆相手の立論内容を引用して論理的に反論する。

※「データの有無」に対する反論だけでなく、相手の論理(因果関係等)に對しても反論(説得)できるように努める。

(例)
・先程、肯定側は「本に触れる機会を増やす」ことが「知識を増やす」と述べていましたが、それは認められませんが、そもそもマンガはあくまでも娯楽を目的としたものであり、図書室設置の目的から外れる点において、ふざわしくありません。絵本や文学作品を含むあらゆるジャンルの本に親しむことを目的として図書室は設置されており、そういう意味で「本に触れる機会を確保」できています。つまり、マンガを設置せずとも「知識を増やせる」環境はすでに整っており、マンガから得られる「知識」は対象としていません。…

作戦タイム (⑩:1分)

肯定側第一反駁 (⑨:1分)

肯定側第二反駁 (⑫:1分)

◆第一反駁の内容について論理的に反論する。

※原則、全ての内容について反駁することを目指す。

(例)

先程否定側は、「図書室設置のねらいとのズレ」を主張していましたが、それは認められません。マンガは「日本文化のシンボル」として、世界中で年々その「価値」が高まっています。確かに娯楽の一面はありますが、立論で述べたように、「人生の指針」「座右の銘」とも言える名言を世に残しています。これは、文学作品という「主題」と重なり、「生き方・在り方」を見つめ直す機会となります。以上のような理由から、現状の図書館のねらいに固執せず、興味・関心を出発点に豊かに学ぶために図書室にマンガを設置するべきだと考えます。

また、「OO」という主張も認められません。…

否定側第二反駁 (⑪:1分)



ディベートフローシート 名前()

【定義】

論題:

①肯定側立論	②否定側質疑	⑤否定側第一反駁
		
③否定側立論	④肯定側質疑	⑥肯定側第一反駁

※メリット(デメリット)や理由が2つある場合は、それぞれに対して質疑・反駁できるようにメモを取りましょう。

ディベートフローシート 名前()

【定義】

論題:

①肯定側立論	②否定側質疑	⑤否定側第一反駁	⑧肯定側第二反駁
			
③否定側立論	④肯定側質疑	⑥肯定側第一反駁	⑦否定側第二反駁

※メリット(デメリット)や理由が2つある場合は、それぞれに対して質疑・反駁できるようにメモを取りましょう。

名前()

2分	①肯定側立論	【結論】 よろしく願います。私たちは、論題「図書室にマンガも置くべきである」について、肯定側の立場で立論します。 【メリット】 起きるメリットは「本に触れる機会が増えること」です。なぜこのメリットが起きるのかを説明します。 【現状分析】 いま、わたしたち、子どもの「読書ばなれ」が問題になっています。文部科学省の調査では、…(中略)…いまの図書室は、本が苦手な人にとって「自分とは関係のない場所」になってしまっています。 【発生活理由(根拠・理由付け)】 国立青少年教育振興機構の調査結果によると…(中略)…まずマンガで興味を持ち、そこから関連する歴史や科学の本へ広げていくことができるのです。 【重要性】 重要性を述べます。一番大切なことは、…	2分	※⑨とまとめて2分	⑩否定側(比較・まとめ)	今日のディベートをまとめます。 【判断の基準】 最も大切な点は、『どうすれば、本が苦手な子を一人も取り残さずに図書室へ呼べるか』です。 【相手の主張】 この点について、肯定側は『本に触れるきっかけとしてマンガを置くべきだ』と考えています。 【自分たちの主張(理由)】 しかし、私たち否定側の議論の方が優れています。なぜなら、学校図書室は『遊び場』ではなく、家でできない『深い学び』をするための公共の場所だからです。 【論題と立場】 よって、図書室の価値を守るために、マンガを置くべきではないと言えます。これで終わります。」																								
2分30秒	②否定側第一反駁	(直しをお願いします) 【立て直し】 否定側は『マンガをきっかけに本を読む機会が増える』と言っていました。肯定側は成立しません。なぜなら、肯定側が出たデータは、あくまで『両方読んでいる人』がいるという結果にすぎないからです。もともと本が好きな人がマンガも読んでいるだけで、本が嫌いな人がマンガを覚えるという直接的な証拠にはなりません。結局、マンガだけを讀んで終わってしまう可能性が高いです。	2分	※⑩とまとめて2分	⑥否定側第二反駁	肯定側の立て直しに対して、反論します。 肯定側は『マンガは本を読む練習になる』と言いましたが、その考えには無理があります。マンガの読みやすさは、ほとんどが『絵』に頼ったものです。絵を見ない難しい文章を読む練習力にはつきません。結局、マンガという『楽な読み』に慣れてしまうだけで、本当の読解力をつける練習にはならないのです。	(作戦タイム一分)	⑦肯定側第二反駁	(直しをお願いします) 【立て直し】 否定側からの反駁に対して、私たちの主張を立て直します。 『ルールを作れば図書室の質は下がらない』と言っていますが、そうとは言えません。一度マンガという娯楽が入り『遊び場』のイメージがつくと、ルールを徹底させるのは非常に困難です。先生や図書委員が常に見張るわけにもいきません。最初から持ち込まないことこそが、静かに勉強したい人の環境を守る最も確実な方法です。	(作戦タイム一分)	④肯定側第一反駁	(直しをお願いします) 【立て直し】 否定側からの反駁に対して、私たちの主張を立て直します。 『図書室が遊び場になり、質が下がる』というのは成立しません。なぜなら、否定側が心配している騒音や独占といったトラブルは、場所を分けたり、貸し出しのルールを工夫したりすることで十分に防げるからです。最初からあきらめるのではなく、どうすればみんなが使いやすいくなるかを考えるのが、学校の図書室のあるべき姿です。	2分	⑤肯定側立て直し	(直しをお願いします) 【立て直し】 否定側からの反駁に対して、私たちの主張を立て直します。 否定側は『もともと本が好きな人が読んでいるだけだ』と言いましたが、その考えは違います。マンガには『絵』があるため、本が苦手な子でも内容を理解し、言葉を覚えることができずす。つまり、マンガは文章を読むための『練習』になり、その練習をすれば本を読みやすくなるのは当然であり、十分な『きっかけ』になります。	(作戦タイム一分)	④肯定側第一反駁	(直しをお願いします) 【立て直し】 否定側からの反駁に対して、私たちの主張を立て直します。 『図書室が遊び場になり、質が下がる』というのは成立しません。なぜなら、否定側が心配している騒音や独占といったトラブルは、場所を分けたり、貸し出しのルールを工夫したりすることで十分に防げるからです。最初からあきらめるのではなく、どうすればみんなが使いやすいくなるかを考えるのが、学校の図書室のあるべき姿です。	2分	⑥否定側第二反駁	肯定側の立て直しに対して、反論します。 肯定側は『マンガは本を読む練習になる』と言いましたが、その考えには無理があります。マンガの読みやすさは、ほとんどが『絵』に頼ったものです。絵を見ない難しい文章を読む練習力にはつきません。結局、マンガという『楽な読み』に慣れてしまうだけで、本当の読解力をつける練習にはならないのです。	(作戦タイム一分)	⑦肯定側第二反駁	(直しをお願いします) 【立て直し】 否定側からの反駁に対して、私たちの主張を立て直します。 『ルールを作れば図書室の質は下がらない』と言っていますが、そうとは言えません。一度マンガという娯楽が入り『遊び場』のイメージがつくと、ルールを徹底させるのは非常に困難です。先生や図書委員が常に見張るわけにもいきません。最初から持ち込まないことこそが、静かに勉強したい人の環境を守る最も確実な方法です。	(作戦タイム一分)	④肯定側第二反駁	(直しをお願いします) 【立て直し】 否定側からの反駁に対して、私たちの主張を立て直します。 『遊び場になるから、最初からマンガを持ち込まないのが確実だ』と言いましたが、その考えには無理があります。なぜなら、今の図書室は『静か』がもしもありませんが、本が苦手な子にとっては『自分とは関係のない場所』になってしまっているからです。静かな環境を守るために、10人に1人もいる本を読まない子を追い出すようなやり方は、学校の図書室として正しいとは思えません。場所や時間を分けるなどの工夫をして、みんなを歓迎するのが本当の図書室の姿です。	2分	⑧否定側(比較・まとめ)	※⑨とまとめて2分

各校実施ディベート論題事例

この論題事例は、令和2年度から7年度にかけて、市内各小中学校で行われたディベートの論題の一例です。実践の参考にしてください。

※各学校、地域、家庭の実態を考慮し、人権に十分配慮した上で実施するようにして下さい。

○価値論題例

【4年生以上の全学年・全校種】

- ・「ペットを飼うなら犬より猫の方がよい。」
- ・「朝はご飯よりもパンの方がよい。」
- ・「国民食にするならカレーかラーメンか。」
- ・「夏よりも冬の方がよい」
- ・「大人と子どもでは、どちらが得か。」
- ・「好きなものから食べるか、苦手なものから食べるか。」
- ・「夏休みの宿題、毎日少しずつするか、一気にするか。」
- ・「タイムマシン開発!行くなら過去か未来か。」
- ・「いっしょに過ごすなら、生きている犬か、ロボット犬か。」
- ・「将来役立つのは算数か。それとも国語か。」
- ・「学校で食べるのは、弁当がいいか、給食がいいか。」
- ・「家にテレビは必要である。是か非か。」
- ・「電話より手紙の方が気持ちが伝わる。」
- ・「より効果があるのは、予習か復習か。」
- ・「動物園の動物と野生の動物は、どちらが幸せか。」
- ・「弁当と給食ではどちらが優れているか」
- ・「桃太郎のお供は果たして本当に幸せだったのか。」

【主に高学年以上】

- ・「家を建てるなら木よりもコンクリートの方がよい。」
- ・「受信した内容を読み、返信をしないことはありかなしか。」
- ・「無人島で生きるのに必要なのは、ナイフかライターか。」
- ・「大切なのは愛かお金か。」
- ・「敬語は使うべきである。」
- ・「嘘をつくのは、許されるべきである。」
- ・「和食と洋食、どちらが優れているか。」
- ・「各家庭で植物を植えたり育てたりするべきだ。」
- ・「新聞よりテレビの方が情報を得やすい。」

- ・「情報収集するならインターネットか紙媒体か。」
- ・「洋画は吹き替えて見るべきか、字幕で見るべきか。」
- ・「宿題と自主学は、どちらが大事か。」
- ・「試験前日は、夜遅くまで勉強するべきだ。」
- ・「eスポーツはスポーツといえるのか。」
- ・「好きな職業を仕事にすべきである。」
- ・「将来のために進学するなら、私立である。賛成か反対か。」

○政策論題例

環境	☐ 「公園のごみ箱はなくすべき(設置するべき)である。」 ☐ 「ポイ捨てする人には罰金や罰則をかけるべきだ。」 ☐ 「日本国内では、ごみ袋持参でごみを管理するべきだ。」 ☐ 「日本は飲食店にドギーバッグの常備を義務付けるべきである。」 ☐ 「使い捨てプラスチック容器の使用を禁止するべきである。」 ☐ 「寝屋川市では、家庭ごみの回収を有料にするべきである。」 ☐ 「ごみの収集を有料にすべきである。」 ☐ 「日本では食品ロスを含む生ごみの排出量に応じて、お金を払うべきである。」 ☐ 「飲食店は、わりばしの使用を廃止するべきである。」 ☐ 「日本では、節電を推し進めるために、電気料金を値上げするべきである。」 ☐ 「日本では、全ての火力発電を代替発電に代えるべきである。」 ☐ 「2050 年までに、ガソリン車は製造を禁止するべきである。」 ☐ 「コンビニの 24 時間営業は禁止すべきである。」 ☐ 「サマータイム制を導入すべきである。」 ☐ ☐
防災・安全	☐ 「日本は、救急車の利用を有料化するべきである。」 ☐ 「コロナがさらに拡大した場合、小学校は休校にするべきである。」 ☐ 「自転車乗車を免許制度にするべきである。」 ☐ 「電動キックボードは免許制のほうが良いか。」 ☐ 「登下校は、自転車でもよしとするべきである」 ☐ 「寝屋川市では、大雨警報が出たら休校にするべきである。」 ☐ 「学校への携帯電話の持ち込みを許可するべきである。」 ☐ ☐
情報	☐ 「お知らせなどは、プリントでもらうか、タブレットでもらうか。」 ☐ 「情報収集するならインターネットか紙媒体か。」 ☐ 「SNS 投票は、実名でするべきである。」 ☐ 「〇〇学校は、テレビ、スマホ視聴を週4日に限定するべきである。」 ☐ 「小学生は無料通話アプリ LINE の時間帯を制限するべきである。」 ☐ 「カムチャッカ半島沖地震によるマスコミの津波報道は適切であったか。」 ☐ ☐

主 権 者 ・ 公 共	☐ 「日本は、大統領制に変えるべきである。」 ☐ 「裁判員制度を廃止するべきである。」 ☐ 「日本では、選挙に行かない人は罰金を払うべきだ。」 ☐ 「選挙で投票しない人には罰を与えるべきである。」 ☐ 「選挙は中学生から投票できるようにすべきである。」 ☐ 「消費税は上げるべきである。」 ☐ 「日本は減税するべきである。」 ☐ 「高速道路を全面無料化すべきである。」 ☐ 「最低賃金を全国一律にすべきである。」 ☐ 「日本の企業は週 3 日制を導入するべきである。」 ☐ ☐
教 育	☐ 「クラスでは生き物を飼うべきである。」 ☐ 「教室で生き物を飼うべきである。」 ☐ 「小学校は完全オンライン化するべきである。」 ☐ 「〇〇学校は、全ての授業をオンラインに変えるべきである。」 ☐ 「中学校の部活としてeスポーツはあってもよい。」 ☐ 「日本は 7 月入学制にするべきである。」 ☐ 「学級文庫にマンガを置くべきである。」 ☐ 「学校の図書館にマンガを置くべきである。」 ☐ 「〇〇学校は、20 分休みを 1 時間休みにするべきである。」 ☐ 「〇〇学校は、置き勉を許可すべきである。」 ☐ 「〇〇小学校は、ランドセルをやめて、自由なカバンにするべきである。」 ☐ 「清掃活動を週に 2 回（火曜日・金曜日）のみの実施とするべきである。」 ☐ 「チャイムは鳴らすべきである。」 ☐ 「授業開始前のメロディーチャイムを廃止するべきである。」 ☐ 「学校の宿題は、すべて自学にするべきである。」 ☐ 「〇〇学校は、担任制度を廃止すべきである。」 ☐ 「小中学校の授業を週 6 日制に戻すべきである。」 ☐ 「日本は中学校・高等学校の部活動制度を廃止するべきである。」 ☐ 「定期テストは每学期 1 回のみとするべきである。」 ☐ 「高校入試は、入学試験の点数で合格、不合格を決めるべきである。」 ☐ ☐
福 祉 ・ 共 生	☐ 「電車の優先席は廃止すべきである。」 ☐ 「〇〇鉄道は、電車の優先席を廃止すべきである。」 ☐ 「男性専用車両も作るべきである。」 ☐ 「(男性の) 育児休暇を義務化すべきである。」 ☐ 「男性の育児休暇を義務化すべきである。」 ☐ 「貧困率が高い国に募金することを義務化するべきだ。」 ☐ ☐

ODーIグランプリにおける実施論題

【寝屋川教育フォーラム】

- ・全ての自動車は、電気自動車にするべきである。(小 6)
- ・飲料用のペットボトルは、全てビンにするべきである。(中 2)

【DーIグランプリ】

《小学生の部》

- ・日本では、穀物の自給率を高めるべきだ。(2023)
- ・今、寝屋川市に必要なのは公園か。それとも商業施設か。(2024)
- ・寝屋川市では、家庭ゴミの有料化を義務づけるべきである。(2025)

《中学生の部》

- ・仕事において重視するのは、お金よりやりがいである。(2023)
- ・高校生の間に、アルバイトは経験するべきである。(2024)
- ・AI は人間の幸福度を高める。是か非か。(2025)

○論題に関する工夫例

- ・「定義」付けをする。(R3・1 月の石津小指導案等参照)
- ・「誰がそれをすべきなのか」という主語を明確にする。
(「〇年〇組は」「〇〇小学校は」「寝屋川市は」「日本は」等)
- ・一度行った論題の主語を変えて再度やってみる。
- ・同じ論題で複数回ディベートマッチを行い、一人ひとりが「肯定側」「否定側」「ジャッジ」を全て経験できるようにする。
- ・低・中・高学年で共通論題を実施し、発達段階による意見の違いを見取り、他教科の指導に活かす。

○系統的な論題の活用例

- ・「SDGSの視点を取り入れた論題」の系統的な活用例
(小4)「公共の水道は今後も必要である」
↓
(小5)「家庭からごみを出すのは有料にすべきである」
↓
(小6)「割りばしの使用は今後も認めるべきである」
↓
(中1)「水道料金を無料にすべきである」
↓
(中2)「レストラン等での食べ残しには、追加料金を設定すべきである」
↓
(中3)「プラスチックストローは有料にすべきである」

巻末資料⑦「各教科との関連を図った論題例（小・中）」

教科書名	ページ	タイトル	論題	補足
国語科（光村図書）				
国語 一年上	10	おはなし ききたいな	（絵本について） 〇〇と〇〇、どっちがすき？	P11記載の絵本「どっち？」を取り上げるか、2冊の絵本の読み聞かせの後に問うこともできる。
	26	よく きて、はなそう	ドッジボールとおにごっこ、どっちが好き？	それぞれ個人の意見を述べた後に、一般的な遊びとして知られる左記内容を問う。
	80	すきな こと、なかに	絵をかくことと物をつくること、どっちが好き？	それぞれ個人の意見を述べた後に、左記内容を問う。
	94	としょかん と なかよし	〇〇と〇〇、Aさんにおすすめするならどっち？	対象のAさんにおすすめする本を選んでもらうことを先に伝え、読み聞かせを行う。
国語 一年下	44～54	たぬきの糸車	どの場面のたぬきが一番すきですか？	好きなたぬきについて理由を述べる中で、たぬきの様子を詳しく読み取ることができる。
	60	おかしばなしを よもう	（昔話について） 〇〇と〇〇、どっちが好き？	2冊の読み聞かせを行ったのちに、左記内容を問う。読み聞かせを行うことで、昔話に関心をもつことも期待できる。
	80～89	どうぶつの あかちゃん	どの動物をしらべてみたいですか？	紹介したい動物を選ぶ前に左記内容を問う。
	94, 95	ものの なまえ	どのお店屋さんをしたいですか？	知っているお店屋さんの共有後、左記内容を問う。
	108～119	ずうっと、ずうっと、大すきだよ	みなさんだったら子犬をもらいますか？	P118, 119に記載内容
国語 二年上	56～61	かんざつ名人になろう	教室で飼うなら〇〇か、それとも〇〇か？	生活科と関連 地域の実態に応じて、扱う対象を決める。
	90～93	あったりいいな こんなもの	あったほうがいいのは「空とぶくつか」、それとも「どこでもドア」か。	学習の導入、終末どちらでも実施可能。
	96～113	お気に入りの本を紹介しよう	「おはなしの本」と「ずかん」、どっちが好き？	好きな理由に注目させるために左記内容を問う。
国語 二年下	13～26	お手紙	お手紙は「かたつむりくん」ではなく「とりさん」に届けてもらうほうがよかった。	「長いことまっていた」「四日たって…」など、「かたつむりくん」であることに意味について考えることができる。
国語 三年上	45～47	もっと知りたい、友だちのこと	—	ディベートにおいて目的に沿った質問をするためにも、質問の種類を知ることは重要である。
	48, 49	きちんとつたえるために	—	主語と述語を明確にすることや、理由を伝えることはディベートにおいても重要な要素である。
	65	全体と中心	—	話の中心を考えながら聞くことは、ディベートにおいても重要な要素である。
	71～90	まいごのかぎ	りいこは、その後「うさぎ」を書いたかどうか。	左記内容を問うことで、登場人物の心情の変化に注目することができる。
	96～97	引用するとき	—	引用の意味や約束を学ぶことはディベートにおいても重要な要素である。

国語 三年 上	122～123	こんな係がクラスにほしい	—	理由と併せて意見を述べることはディベートにおいても重要な要素である。話し合いの内容によっては、2項対立にすることも可能。
	124～127	ポスターを読もう	行きたくなるのは、どちらのポスターですか？	左記内容を問うことで、目的に沿ったポスター（資料）の作成、選択について考えることができる。
国語 三年 下	116,117	お気に入りの場所、教えます	何を伝えたくて、それぞれの写真を使おうと思ったのでしょうか	資料を使う「目的」について考えることができる。
	118～120	お気に入りの場所、教えます	—	P119「発表のれい」には立論構成において大切な要素が多く含まれている。
	121～136	モチモチの木	豆太は変化したかどうか。	物語の主題について考えることができる。
国語 四年 上		分ける・くらべる	—	分けること（カテゴライズ）やくらべること（比較）はディベートにおいて重要な要素。
	21～34	白いぼうし	題名にふさわしいのは白い帽子？夏みかん？	作品の主題を考えることを通して、「精査・解釈」を促す。
	44	聞き取りメモの工夫	—	ディベートにおいて、メモすることは重要。
	53～66	筆者の考えをとらえて、自分の考えを発表しよう	—	具体的な例（具体例）を意識することは、ディベートでの説得力を上げるために重要。
	90～91	要約するとき	—	要約することは、相手の話をまとめて反論するとき、ディベートのまとめをするときに重要。
	98		中休みは、外に行くよりも部屋にいる方がよい。	
	～R5 教科書	ランドセルは海をこえて	世界の小学校は、カバンではなく、ランドセルを持たせるべきだ。	
	～R5 教科書	中央清掃工場はどのようにごみを処理しているのかな。	ごみの回収は有料とすべきだ。	※社会4年でも取り扱っている。
国語 四年 下		分ける・くらべる	—	いくつに分けるか、また1点目は～とナンバリングすることは、ディベートでも用いられる。物事の前後を比べることは、ディベートでの政策をとる前、とった後の比較で使えるテクニック。
	48～59	未来につなぐ工芸品	100均グッズよりも伝統工芸品を買うべきである。	
	～R5 教科書	うなぎのなぞを追って	ウナギを食べることはやめたほうがよい。	※（ニホン）ウナギは急激に減少していて絶滅してしまう可能性がある、という情報を与えたうえで、議論できるとよいでしょう。
国語 五年	48	インタビューしよう	—	もっとも聞きたいことを、はっきりさせておく。→ディベートにおける質疑応答で重要。
	104～105	どちらを選びますか	・ペットにするなら、犬よりもねこのほうがよい。 ・ペットにするなら、本物の犬よりもロボット犬のほうがよい。	※AとBを比較するディベートでは、できるだけAとBの差が見えやすいものを設定してあげるほうがよい。

国語 五年	184～189	あなたは、どう考える	・電車やバスの優先席は必要である。 ・スーパーマーケットは二十四時間営業がよい。 ・病院の呼び出しは、番号よりも名前がよい。	
	199～210	想像力のスイッチを入れよう	新聞よりもインターネットを使うべきである。	
国語 六年		ものの考え方、伝え方	—	順序立てる・分ける・比べる 全体と中心・考えとその理由や事例・原因と結果 考えをつなげる、広げる 上記、いずれもディベートの重要な要素。
	65	主張と事例	昼休みは、長い方がよい。	
	102～103	一番大事なものは	—	ディベートでは、「肯定/否定チームで最も大事な こと(価値観):チームスタンス」や「そのディベート で最も大事なこと」を考えることが重要。
	～R5 教科書	プログラミングで 未来を創る	先生は、人間よりもAIのほうがよい。	
国際コミュニケーション科(外国語科)（東京書籍）				
NEW HORIZON Elementary English Course 5	70～71	日本の四季ポスト カードを紹介しよ う。	住むなら、四季のある国がよい。	
NEW HORIZON Elementary English Course 6	28～29	世界遺産について 考えよう。	修学旅行では、世界遺産に行くべきだ。	
	34～35	Summer Vacation in the World	夏休みは海よりも山に行く方がよい。	
	48～59	環境～食料事情	—	FYI: 題材として、社会問題が取り上げられてい る。キーワードは、絶滅危惧種、ごみ、水資源、ボラ ンティア、食べ残し、栄養不足。
生活科(啓林館)				
※原則、子どもの「想いや願い」を出発点に話し合うテーマを設定する。(もっと～したい)				
生活 上	52～63	生きもの 大すき	(子どもから意見が出た場合) 学校で生き物を飼った方がよいかどうか。	生き物を飼う良さや大変さについて考えることを 通して、生命の尊さについて考える機会となる。
	52～64	生きもの 大すき	(逃がした方がよい等の声が挙がった時に) 教室で飼う生きものと、野生の生きもの、どちらが 幸せか。	生きものについての「幸せ」について考える中で、 私たち「人間」との共通点に気づく機会となる。
	52～63	生きもの 大すき	(子どもから意見が出た場合) 教室で飼う生き物をふやしたほうがよいかどう か。	生き物を飼う良さや大変さについて考えることを 通して、生命の尊さについて考える機会となる。
	52～63	生きもの 大すき	(子どもから意見が出た場合) 飼った生き物は逃がしたほうがよいかどうか。	生き物を飼う良さや大変さについて考えることを 通して、生命の尊さについて考える機会となる。
	114,115	あたらしい1年生 をしょうたいしよう	(1年生を招待する遊びについて、〇〇コーナーを 増やしたいという声が上がった場合) 〇〇コーナーを増やした方がよいかどうか。	自分たちと重ね合わせ、「1年生にとって」よりよい ものにするために話し合う機会となる。
	1～128	1年間を振り返っ て	(全ての四季の良さを体験した後に) 一番楽しかった季節はどれか。	学校や家庭での体験をもとに理由を述べている 姿を価値づけながら、楽しく学習したことを思い出 す機会となる。
生活 下	16,17	大きく育て 私の野 菜	やさしい種から育てるか。それとも苗から育てる か。	子どもが自分たちの想いや願いを創るために、考 え、選択する機会を作る。

生活 下	50, 51	生きもの 大すき 大はっ見	クラスの生き物の世話は、係が行うか。それとも全員が順番で行うか。	クラスで生き物を飼った目的は必ずはじめに確認する。手段が変わっても、目的を達成していると全員が納得できるようにする。
	108, 109	これまでのわたし これからのわたし	感謝の気持ち手紙で伝える方がよいか。 それとも直接言葉で伝えた方がよいか。	自分の経験と重ねる機会になるとともに、文字言語と音声言語の特徴について考える機会となる。
社会科（日本文教出版）				
社会 3年	92~93	未来につなげる～ わたしたちのSDG S～食べられずにすてられて しまう食品を減らすために	学校の昼食は、給食より弁当の方がよい。	「食品ロス」の視点を踏まえながら、様々な角度から考える。
社会 4年	32~50	ごみのしりと活用	ごみの回収は有料とすべきだ。 家庭ごみの量で回収料金を設定するべきだ。	※国語四年上にも関連
	全般	全般	—	FYI: ディベートを行うにはもう少し掘り下げる/調べる必要があるが、以下のトピックが取り上げられている。 水、電気、ガス、地球温暖化 地震、津波、火山 原子爆弾 祭り、日本遺産、バイオマス、天然林・人工林 多文化共生
社会 5年	120~135	これからの食料生産	食料品は、外国産よりも国産を選ぶべきだ。	※以下のポイント（すべて教科書に記載）を踏まえて議論するとよい。 ・食料自給率、輸入、ねだん、耕地面積、買い負け、かんばつ、収入、天候、さいばい漁業、地産地消、水産資源、トレーサビリティ
	120~135	これからの食料生産	朝食には洋食よりも和食がよい。	保健体育（中学）、理科3（中学）でも取り扱っている。
	120~135	これからの食料生産	日本は穀物の食料自給率を高めるべきである。	日本の地形の特長、外交関係、自然保護等、多面的に食料自給率について考察する。
	144~159	自動車工業のさかんな地域	自動車の自動運転は害よりも利益をもたらす。	国語1（中学）、理科1・3（中学）、技術分野（中学）でも取り扱っている。
	144~159	自動車工業のさかんな地域	全ての自動車は、電気自動車にするべきである。	「販売する自動車」「2050年までに達成」などの定義づけを行う。
	254~265	森林と私たちのくらし	日本は食糧自給率を高めるために、森林を活用するべきである。	自然保護の観点から日本の食料自給率について捉え直す。
	240~253	自然災害から人々を守る	被災した際に、より重要なのは自助ではなく、共助である。 (被災した時) 避難所で避難生活を送るよりは家の庭や車などで避難生活を送る方がよい。	「防災学習」等、総合的な学習の時間と関連づけることで、多面的に考えることができる。 同上
	266~275	環境とわたしたちのくらし	公害が出るほどの高度経済成長は必要であったか。	「今後のよりよい社会づくり」における重要な観点について考える。
社会 6年	10~45	日本国憲法と政治のしくみ	消費税を増税させるべきである。	※税金のはたらき(p.36)で取り扱いがあるため、ディベートにおいて、政府が〇〇すべき、など税金が絡んでくる論題を設定するのもよさそう。
			日本は救急車の利用を有料化にするべきだ。	PUSH～命の授業～とも関連付けることで、多角的・多面的な見方ができやすくなる。

理科（啓林館）				
理科 3年	160～169	ものの重さ ぐらしとリンク	小学校のかばんは自由にすべきである。	形や体積についての学びをもとに、ランドセルの歴史についての掲載があるので、形や使いやすさ等の利便性の視点も入れつつ考える。
理科 4年	全般	生き物	生き物の観察は、春夏よりも秋冬のほうが面白い。	春夏秋冬それぞれの生き物の観察について記載があるため、学習が終わってから、各季節の生き物の特徴を児童なりに列挙できるとよい。
理科 5年	全般	全般	—	FYI: ディベートを行うにはもう少し掘り下げる/調べる必要があるが、以下のトピックが取り上げられている。 ・植物工場（ディベートへの発展では、遺伝子組み換え食品、ゲノム編集） ・受精卵（ディベートへの発展では、人工授精・体外受精への公的助成、代理母、出生前診断） ・電磁石、モーター（ディベートへの発展では、自動運転、ロボット）
理科 6年	2	クラゲとまちがえてビニル袋を食べようとするカメ	レジ袋は有料とすべきである。	
	全般	全般	—	FYI: ディベート自体を行うにはもう少し掘り下げる/調べる必要があるが、以下のトピックが取り上げられている。 ・地震、TSUNAMI ・発電
図画工作科（開隆堂）				
図工 1・2年 上	54～55	ようこそ あたらしい 1ねんせい	新入生を迎える気持ちを伝えるためには1人1人へ工作の贈り物をするのがよいか 全員で1つの場所に飾り付けをするのがよいか	
図工 1・2年 下	42～43	形や色を見つけて	材料を探しに行くのは〇〇公園がよいか△△公園がよいか	知らない児童のために 〇〇公園にある草木や△△公園にある草木を伝える必要がある
図工 3・4年 上	26～27	表し方を考えて	ひまわりの表現の仕方はゴッホがよいか葛飾北斎がよいか	
図工 3・4年 下	20～21, 44～45	紙の箱だいへんしん・カクカク板を組み合わせたら	小物入れは、紙よりも木材で作る方がよい。	紙の特性、木材の特性を体験的に理解したうえで、意見がやすい。
図工 5・6年 上	～R6 教科書	技術の発達と表現の広がり	手作りよりもコンピュータを使った芸術を学ぶべきである。	どのような手作り/コンピュータのアートがあるか、図画工作で学んできた例を挙げながら議論する。
図工 5・6年 下	36～39	墨の達人・墨や筆の技 水墨画の世界へ	絵具より、墨での表現が楽しい。	絵具・墨での表現では、それぞれどのような工夫ができるか、体験的に学んだことを言語化する。

特別の教科 道徳（光村図書）				
道徳 1年	34～37	かぞくとおはなし	家族とお話をするときに使う写真はペンギンよりゾウがよい。	
	60～63	とりかえっこ	小学校と幼稚園（保こ幼）どちらがよい。	
	86～87	せかいのこども	旅行にいくなら、フィンランドよりパプアニューギニアの方がよい。	
道徳 2年	21～23	しょうかいします	自分の学校をしょうかいするなら、運動場より、給食を紹介する。	学校によって特徴的な場所に変え、比較して考えると良い。
	30～33	ダンゴムシのまるちゃん	生き物を買うなら、動物より虫の方がよい。	生活科と関連付けながら行くと良い。
	116～117	黒ばんがにつこりするかな	係活動するなら、配り係より、黒板係がよい	学級の係活動の実態に合わせて設定すると良い。
道徳 3年	18～21	日曜日の公園	公園でみんなと遊ぶなら、ゲームよりおにごっこをした方がよい。	
	72～73	考えるじゅんびたいそう	ものを壊された時より、悪口をいわれるほうが腹が立つ。	
	136～139	「わたしらしさ」をのばすために	苦手を克服するより、得意をのばす方に努力した方がよい。	
道徳 4年	124～127	生き物と機械	ペットにするなら、本物の犬よりもロボット犬のほうがよい。	五年の国語科でも取り扱っている。
道徳 5年	84～85	インターネットの特性とマナー	インターネットでのとくめい利用を禁止すべきである。	p.23記載：名前をかくせるーとくめい性
	124～127	クール・ボランティア	小学校でボランティア活動を義務化すべきである。	
道徳 6年	81～86	世界人権宣言から学ぼう	—	ディベートでの争点を取り上げ、肯定・否定の価値観の差を見出すとき、記載の世界人権宣言の内容が大いにヒントとなる。 例：女性議員の割合を増やそう：世界人権宣言第二条「差別はいやだ」何をもって差別とするか。権利とは何か。 例：たばこの販売を禁止する：第二十九条「権利と身勝手はちがう」第三十条「権利をうばう」「権利」はない
保健体育科（東京書籍）				
保健体育 3・4年	42	すいみんと発育	小学生は9時までに寝ることを義務付けるべきである。	
保健体育 5・6年	34	インターネットによる犯罪被害	小学生はインターネットを使わない方がよい。	
	27～30	交通事故の防止	自転車乗車を免許制にすべきである。	
家庭科（東京書籍）				
家庭 5・6年	28～35	ひと針に心をこめて	雑巾は100均で買うより、手ぬい（やミシン）で作った方がよい。	手ぬい（またはミシン）の経験をもって、是非を問う。
	44～53	食べて元気！ご飯とみそ汁	給食は全て和食にするべきである。	洋食と比較しながら栄養面、食料自給率向上、伝統文化と関連させることができる。
	112～121	まかせてね 今日の食事	学校でお弁当が必要なときは、保護者ではなく生徒自身が作るべきである。	p.114弁当作り

教科書名	ページ	タイトル	論題	補足
国語科（光村図書）				
国語 一年	9～10	思考の地図	—	プレスト:ディベートの準備、比較・分類:ディベートでのまとめ、分析・吟味:ディベートでのスピーチ作成
	46～49	ちよつと立ち止まって	—	ディベートでも視点によって、よいこと、悪いことが変わる。 (例)人口減少はよいことか、悪いことか
	52,138,186	比較・分類、意見と根拠、原因と結果	—	
	176～183	「不便」の価値を見つめ直す	自動車の自動運転は社会に利益をもたらす。	
	228～231	構成や描写を工夫して書こう	—	構成および描写はディベートのスピーチにおいて重要な要素である。
国語 二年	9～10	思考の地図	—	軸を2軸（実現性、効果）にする、根拠を複数示すなど:ディベートでの分析に有効
	29,30	意見を聞き、整理して検討する	—	
	32,52,132	思考の視覚化、根拠の吟味、具体と抽象	学校図書館の利用者を増やすために、雑誌を置くべきである。	
	33～35	資料や機器を活用して話す	—	資料を活用する時も、話し方を工夫して聴き手の注意を引き付けることは重要である。
	55,56	多様な方法で集めた情報を整理する。	—	情報の信憑性を高めるために、メディアの特長を理解し、比較・判断することが重要である。
	132～135	適切な根拠を選んで書こう	中学校の授業で模擬選挙を行うべきだ。	※教科書に記載あり
	186～189	立場を尊重して話し合おう	・今よりもオンライン授業を増やすべきである。 【～R5参考】 ・中学生のスマートフォン利用を禁止すべきである。 ・救急車の利用を有料にすべきである。 ・AI(人工知能)は人々の生活を豊かにする。 ・すべての中学生は、ボランティアをすべきである。	※教科書に記載あり
国語 三年	9～10	思考の地図	—	具体と抽象について、具体を複数挙げて関係性を理解する。
	29～31	意見を聞き、適切さを判断する	中学生は、全員ボランティア活動をするべきである。	※教科書に記載あり
	32～35	説得力のある構成を考えよう。	年始の挨拶は、はがき（年賀状）で行うべきである。	聞き手がどの程度、知識や関心を持っているのかを想定して、構成を考える。
	52,84	具体化・抽象化、情報の信頼性	—	具体化・抽象化、情報の信頼性はディベートにおいて重要な要素である。
	55	論理の展開を意識して書こう	—	文章構成および内容を整えることについて記載。
	130～134	複数の意見を読んで考えよう	環境問題改善については、システムをつくるより個人の行動を促すべきだ。	
	135,136	文章を批判的に読み、評価する	—	立場、論理の展開、情報の信憑性等、批判的に捉えるための観点を持つ。
	137～139	論理の展開や表現を工夫する	—	「意見と根拠」「具体と抽象」の関係を意識することは、論理構築において重要である。
	179	文章を呼んで、自分の意見をもつ	—	考えの形成時における「例証」や「反証」は、反駁力の向上につながる
	187～189	合意形成に向けて話し合おう	—	ディベートにおけるジャッジの視点としても役立つ。
	258,259	説明的な文章を読むために	—	ディベートの重要な要素が記載されている。

英語科（開隆堂）				
SUNSHINE ENGLISH COURSE 1	136～139	Our Project 3 モデルスピーチ	—	「聞く」「読む」活動の後に、スピーチ原稿の作成を行う。 マッピングでの思考の整理や展開・発表の仕方について学ぶ。 第2学年Our Project 6 (P119)でも取り扱っている。
SUNSHINE ENGLISH COURSE 2	～R6教科書 24	Interact(Our School Trip)	Domestic school trips are better than overseas school trips.	修学旅行は、海外より国内がよい
	～R6教科書 24	Interact (A Good Pet)	A dog is better than a turtle as a pet.	ペットにするなら、亀よりも犬がよい。
	98	Scenes for Basic Dialogs	Zoos are better than aquariums as a field trip.	遠足は、水族館より動物園がよい。
	99	Scenes for Basic Dialogs	Summer is better than winter.	冬よりも夏がよい。
	118	説得力のある説 明をしよう	School uniforms are better than casual clothes.	制服よりも私服がよい。 (家庭科でも取り扱っている。)
	118	説得力のある説 明をしよう	It is better to watch a movie at home than in a movie theater.	映画は、映画館より家で見る方がよい。
SUNSHINE ENGLISH COURSE 3	～R6教科書 18	ディベートをしよう	The Internet is better than newspapers.	新聞よりもインターネットがよい。
	～R6教科書 18	ディベートをしよう	It is better to watch a movie at home than in a movie theater.	映画は、映画館より家で見る方がよい。
	～R6教科書 72	わかりやすい文章 を考えよう	An electronic dictionary is better than a paper one.	※ディベートでよく使用するつなぎことば(First~, However, ~. For example, ~.など)が紹介されてい る。 紙の辞書よりも電子辞書がよい。
	7	Japanese Bentos Are Interesting!	Bentos are better than school lunches.	給食よりも弁当がよい。
	54	Step3 for Our Projectディス カッションの流れ を確認しよう	A knife is better than water on a desert island.	無人島に持っていくなら水よりもナイフがよい。
	90	Our Project 8 モデルディスカ ッションを確認し よう	Paper straws are better than plastic straws.	ストローはプラスチックよりも紙がよい。
	95～103	Robots Can Improve Quality of Life	Artificial Intelligence(AI) is our enemy.	人工知能は人類の敵である。
理科（啓林館）				
理科 1年	77,83 122	2章ゆれる大地 4章語る大地	マスコミは津波警報をやや過大に報道すべきであ る。	(p.116引用:災害を最小限にするためには、1人ひと りが液状化、津波、火砕流など、大地の変化に関する知識 を身につけ、過去の災害の特徴などを学び、さまざまな 情報を理解して活用することがたいせつである。) ディベートでは、上記の知識を持ちつつ、過大に報道せ ねば市民が避難しないのか、度重なるマスコミの過大報 道で信用がなくなるのかを考える。 社会科地理、国語2でも取り扱いあり。
	～R6教科書 264～265	自動運転を支える 光と音の科学	人間が運転するタクシーよりも、自動運転タクシー のほうがよい。	自動運転には、センサ(光、音)が使用されていることを 学んだうえで、社会実装で何が問題になるかを考えさせ る問い。
理科 2年	108～131	大気の動きと日 本の四季	災害の情報は単一の情報ソースから周知されるべ きである。	※難易度高い (天気の変化のメカニズムを理解したうえで議論する)
	～R6教科書 210～211	物質の表し方、科 学で宝石を生み 出す	ダイヤモンドはそれほど価値はない。	※ダイヤモンドの元素や性質、人工の場合はその作り 方を理解したうえで、ダイヤモンドの価値を面白おかしく議 論してみよう。

理科 3年	46～99	宇宙を観る	宇宙開発にもっとお金をかけるべきである。	
	122～139	電池とイオン	すべての乗用車を燃料電池自動車に変えるべきである。	
	～R6教科書 248～249	エネルギーをみんなに そしてクリーンに	新築住宅への太陽光パネル設置を義務化すべきである。	※2021.4 国土交通省 第1回「脱炭素社会に向けた住宅・建築物の省エネ対策等のあり方検討会」で議論
	～R6教科書 250～265	自然と人間	朝食には洋食よりも和食がよい。	p262 ユネスコ無形文化遺産「和食」
	252	殺虫剤が与える影響	農業を行う際は、農薬を使用すべきである。	生態系について学んだうえで、他の農作物への影響も考えつつ取り扱ってはどうか。
	264～268	プラスチック	プラスチック製品はできるだけなくしていくべきである。	プラスチックの性質や特徴について学んだうえで、くらしの中でどのように利用していくのかについて考える。
	269～275	科学技術の利用とくらし	・自動車の自動運転は社会に利益をもたらす。 ・ペットにするなら、本物の犬よりもロボット犬のほうがよい。 ・ドローン兵器を禁止すべきである。	※自動運転は、理科1でも取り扱いあり。
社会科（歴史：東京書籍）（地理：帝国書院）（公民：日本文教出版）				
社会 歴史	156～165	欧米の進出と日本の開国	江戸幕府は開国すべきだった。	※準備型（証拠資料収型）ディベート
	166～183	明治維新	明治政府の富国強兵は害よりも利益をもたらした。	※準備型（証拠資料収型）ディベート
社会 地理	166～182 265～282	さまざまな土地のくらし	暮らすなら北海道より沖縄県の方にすべきである。	
	50	世界の諸地域（アジア州）	定住するよりも、遊牧するほうが幸せである。	
	66～79	世界の諸地域（ヨーロッパ州）	イギリスのEU離脱は、社会に利益をもたらした。	
	86～87	世界の諸地域（アフリカ州）	フェアトレードは社会に利益をもたらす。	
	100～101	世界の諸地域（アメリカ州）	多国籍企業は社会に利益をもたらす。	
	146～147	日本のさまざまな地域（日本の地域的特色）	マスコミは津波警報をやや過大に報道すべきである。	※理科1、国語2でも取り扱いあり。
社会 公民	8～9	少子高齢化の社会で生きる私たち	少子高齢化は社会に利益をもたらす。	p9 引用：「少子化と高齢化が進む原因を本文からぬき出しましょう。」
	10～11	情報化で変わる社会と私たち	情報化社会は社会に利益をもたらした。	p11 引用：「情報化によって便利になった点を本文からぬき出しましょう。」
	12～13	グローバル化する社会で生きる私たち	グローバル化は社会に利益をもたらした。	p13 引用：「グローバル化による社会の変化を本文から三つぬき出しましょう。」
	46～47	日本国憲法と国民主権	国民は首相を直接的に選ぶべきである。（日本は首相公選制を導入すべきだ。）	
	53～53	等しく生きる権利	国会議員の一定数を女性とすべきである。（日本は、国会議員の一定数を女性とするクオータ制を導入すべきである。）	
	62～63	社会の変化と人権保障—情報化と人権—	公共の場所での防犯カメラ設置を増やすべきである。	
	64～65	「ネット社会」とつき合う方法	・フェイクニュースを拡散させた者に罪を課すべきである。 ・中高生のネットゲームの時間を規制すべきである。	
	68～69	国際的な人権の保障	日本は難民をもっと受け入れるべきである。	
	70～71	公共の福祉と国民の義務	公務員のストライキ権を認めるべきである。	

社会 公民	82～91	国民主権と日本の政治	義務投票制を導入すべきである。	
	101	行政権の拡大と国民の生活	規制緩和は利益をもたらす。	
	146～147	株式会社のしくみと企業の社会的責任	会社で働くよりも、投資して暮らす方がよい。	
	150～151	グローバル化する経済と現代の企業	日本は自由貿易を推進すべきである。	
	156～157	変化する雇用のカタチ	日本は外国人労働者を増やすべきである。	
	176～177	国の収入を支える税と国債	消費税を増やすべきである。	
	182～183	年金のしくみについて知ろう	年金支給開始年齢を70歳に引き上げるべきである。	
	212～213	限りある資源とエネルギー	原子力発電は害よりも利益をもたらす。	
	216～217	持続可能な社会をめざして	プラスチック製品に課税すべきである。	
特別の教科 道徳（日本文教出版）				
道徳 1年	116～119	よりよい社会と私たち	無人販売はやめたほうがよい。	
	112～115	あったほうがいい？	街中にゴミ箱は置かないほうがよい。	
	100～104	公平と不公平	ー	ディベートでのまとめにおいて、公平か不公平かが対立軸になることがあり、本考え方は役立つ。
	～R6教科書	家族を支え合うなかで	施設よりも自宅で介護する方がよい。	
道徳 2年	50～53	戦争を取材する	ジャーナリストは紛争地に行くべきでない。	
	102～105	美しい鳥取砂丘	公共物への落書きをした者に厳罰化した方がよい。	
	80～81	インターネットでの情報発信	インターネットでの匿名投稿を禁止すべきである。	
	～R6教科書	ダジョー・ニシオカ	発展途上国に対する開発援助は害よりも利益をもたらす。	p.143引用：国際協力とは、一時的なものの援助であってはならない。（ヒント）
道徳 3年	110～113	独りを慎む	家族と暮らすより独りで暮らした方がよい。	
	136～139	臓器ドナー	臓器移植を義務化すべきである。	※社会公民においても取り扱っている。
技術・家庭科（家庭分野：東京書籍）				
家庭分野	32～33	私たちの食生活	共食よりも、孤食のほうがよい。	※新型コロナウイルス感染症対策で黙食が進んできている。今一度、食事について考えられるテーマ。
	104～107	持続可能な食生活を目指して	全商品にフードマイレージを記載すべきである。	
	118～121	衣服の選択と手入れ	制服を廃止すべきである。	外国語2でも取り扱っている。
	142～143	作って楽しい布作品	布製のプレゼントは、市販よりも手作りのほうがよい。	
	162～163	持続可能な衣生活を目指して	誕生日プレゼントには、新品の衣服より、リサイクル衣服を渡すべきだ。	
	172～175	住まいと気候風土の関わり	・洋式より和式の家のほうがよい。 ・家を建てるなら、木造よりも鉄筋がよい。	
	194～203	私たちの消費生活	・中学生もクレジットカードを使用できるようにすべきである。 ・小中学生はお小遣いをもらうべきである。	
	222～223	家庭生活の協力・協働	中学生は毎日1時間家事をすべきである。	

技術・家庭科（技術分野：東京書籍）				
技術分野	126～135	社会の発展と生物育成の技術	・遺伝子組み換え農作物を増やしていくべきである。 ・植物工場を大幅に増やすべきである。	
	138～145	エネルギー変換の技術	原子力発電は利益をもたらす。	社会公民でも取り扱っている。
	220～231	双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題解決	これからは英語よりもプログラミング言語習得のほうが役立つ。	
	238～249	計測・制御のプログラミングによる問題解決	自動車の自動運転は利益をもたらす。	国語1、理科1、3でも取り扱っている。
保健体育科（東京書籍）				
保健体育	18～19	食生活と健康	朝食には洋食よりも和食がよい。	理科3でも取り扱っている。
	20～23	休養・睡眠と健康	中学生は夜10時までに就寝すべきである。	
	132～135	生活に伴う廃棄物の衛生的管理	すべてのごみ収集は有料とすべきである。	
	162～170	現代社会におけるスポーツの文化的意義	国はスポーツにもっと助成すべきである。	
美術科（光村図書）				
美術 1年	10～69	見つめ、感じ取り、描く	プレゼントをするなら、絵よりも立体アートがよい。	
美術 2・3年	101, 102	日本の伝統工芸	伝統技法（工芸品）は残すべきである。	
	～R6教科書	日本の世界文化遺産	修学旅行では、世界文化遺産を訪れるべきである。	

※本資料は、本市教育委員である大阪公立大学 中川 智皓 准教授と共同作成しています。

ディベートに関する主な用語一覧

用語	読み方	意味
論題	ろんだい	議論するためのテーマ
立論	りつろん	それぞれのグループで主張を組み立てた意見
質疑	しつぎ	反対の立場に対して質問すること ※ディベートマッチでは、「立論内容」に対して質問する。
応答	おうとう	質疑の内容に対して答えること
反駁	はんぱく	相手の立論内容に対して、論理的に反論すること
言葉の定義	ことばのていぎ	言葉の意味を定めること
プラン	ぷらん	論題を実行する具体的な内容
現状分析	げんじょうぶんせき	≪肯定側≫ 論題を導入しないことにより発生している問題に言及すること ≪否定側≫ 論題を導入しなくとも、問題が発生しないことに言及すること
ラベル	らべる	話の内容を簡潔に表した表題(題名・タイトル) 【例】 ・アレルギーになりにくい ・栄養バランスがよい ・量を調節できる } 体によい
メリット	めりっと	論題を実行した時に起きる「良いこと」
デメリット	でめりっと	論題を実行した時に起きる「悪いこと」
発生過程	はっせいかてい	メリット・デメリットが起きる過程
重要性	じゅうようせい	現状の問題を解決することが重要であること
深刻性	しんこくせい	発生した問題が深刻であること